

第2次牧之原市総合計画

実施計画 令和2年度

〈将来都市像〉

絆と元気が創る

幸せあふれみんなが集う

NEXTまきのはら

目 次

第1 実施計画の基本方針	1
1 総合計画における位置づけ	1
2 実施計画の期間	1
3 実施計画の事業費及び事業数	2
4 まち・ひと・しごと創生総合戦略と実施計画との関係	2
5 実施計画の進行管理	3
第2 実施計画	4
政策1 健康福祉	
施策1 子育て支援の充実	5
施策2 超高齢社会への対応	11
施策3 障がい者福祉の充実	14
施策4 健康づくりの推進	19
施策5 地域医療体制の構築	23
施策6 地域福祉活動の推進	25
政策2 教育文化	
施策1 学びの意欲を育む学校教育	27
施策2 豊かさを育む社会教育・芸術文化	34
政策3 産業経済	
施策1 農業・水産業の振興	39
施策2 企業誘致と雇用確保	46
施策3 中小企業の振興	49
施策4 観光業の振興	52
政策4 生活基盤	
施策1 道路・河川の保全と整備	56
施策2 安定した上水道の供給	60
施策3 計画的な土地利用・公園の整備	61
施策4 良好な環境の形成	64
施策5 公共交通の充実	68
施策6 住宅・土地の活用と対策	70
政策5 防災	
施策1 危機管理体制の充実	72
施策2 消防体制の充実	78
施策3 防犯・交通安全活動の充実	80

政策 6 市政経営

施策 1 市民の期待に応える人財の育成	82
施策 2 住民自治の推進	83
施策 3 行財政運営の適正化	85
施策 4 情報発信とシティプロモーションの推進	90

第 3 戦略プロジェクト

戦略プロジェクト 1

未来若者プロジェクト	94
------------	----

戦略プロジェクト 2

高台開発プロジェクト	98
------------	----

戦略プロジェクト 3

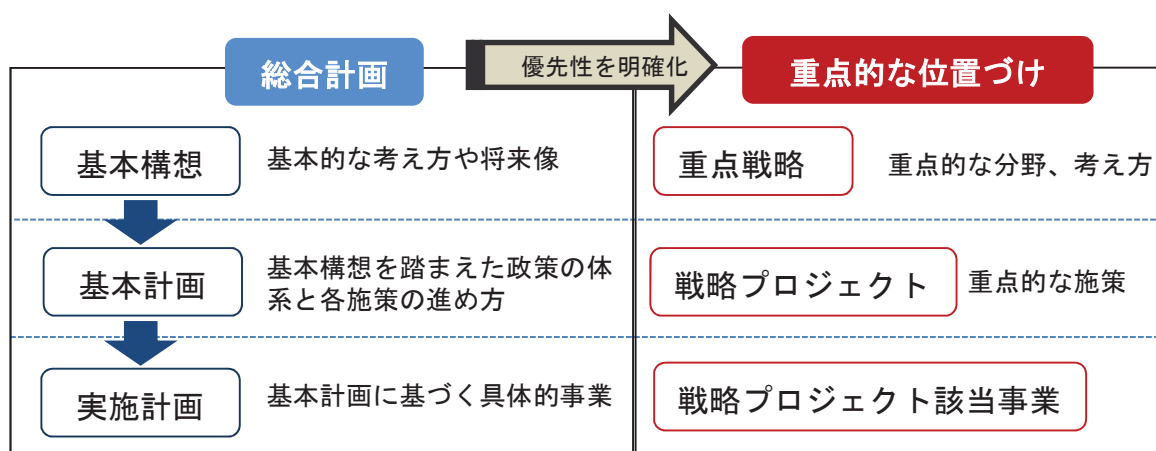
公共施設最適化プロジェクト	101
---------------	-----

◆第1 実施計画の基本方針

1 総合計画における位置づけ

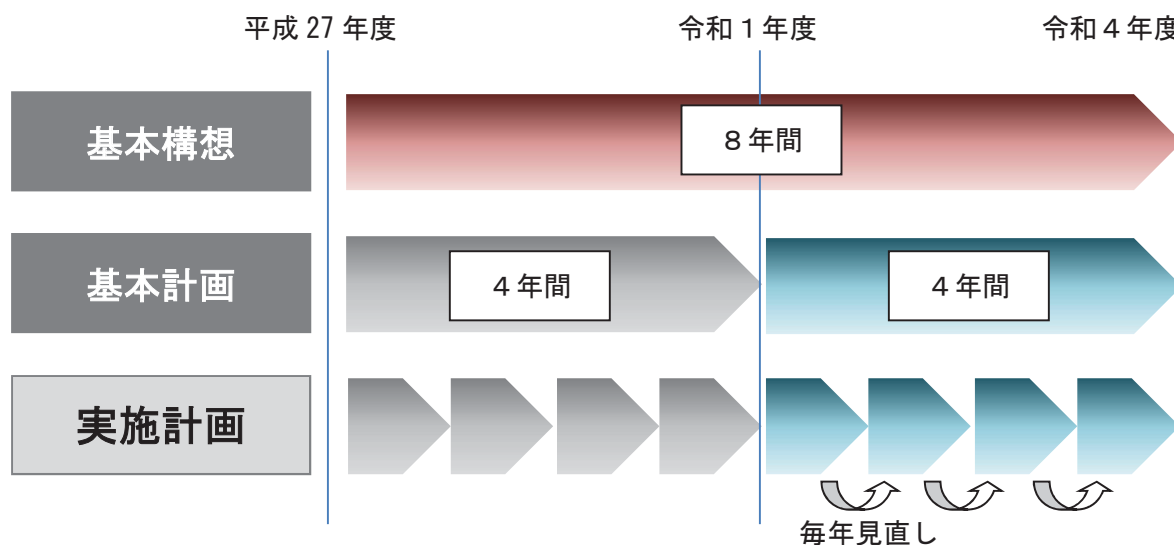
平成 27 年度を始期とする「第 2 次総合計画」は、基本構想、基本計画、実施計画の 3 層で構成されます。実施計画は、基本計画に基づき、実施する具体的な事業を示します。

また、各層に重点的に進める分野として、重点戦略、戦略プロジェクト、戦略プロジェクト該当事業を位置づけ、施策の優先性を明確にします。



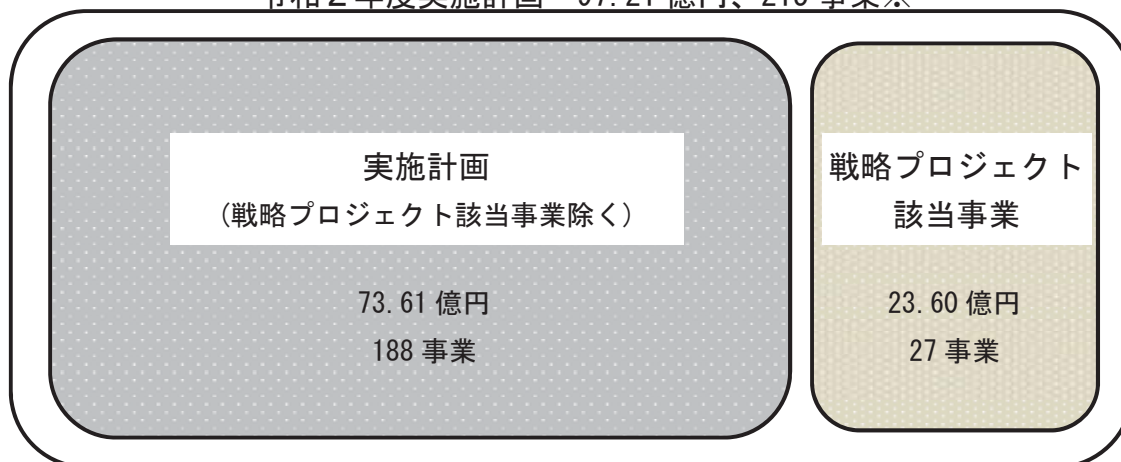
2 実施計画の期間

令和元年度から令和 4 年度までの 4 年間としますが、施策の達成度や社会状況の変化により、毎年見直しを行うローリング方式とします。



3 実施計画の事業費及び事業数

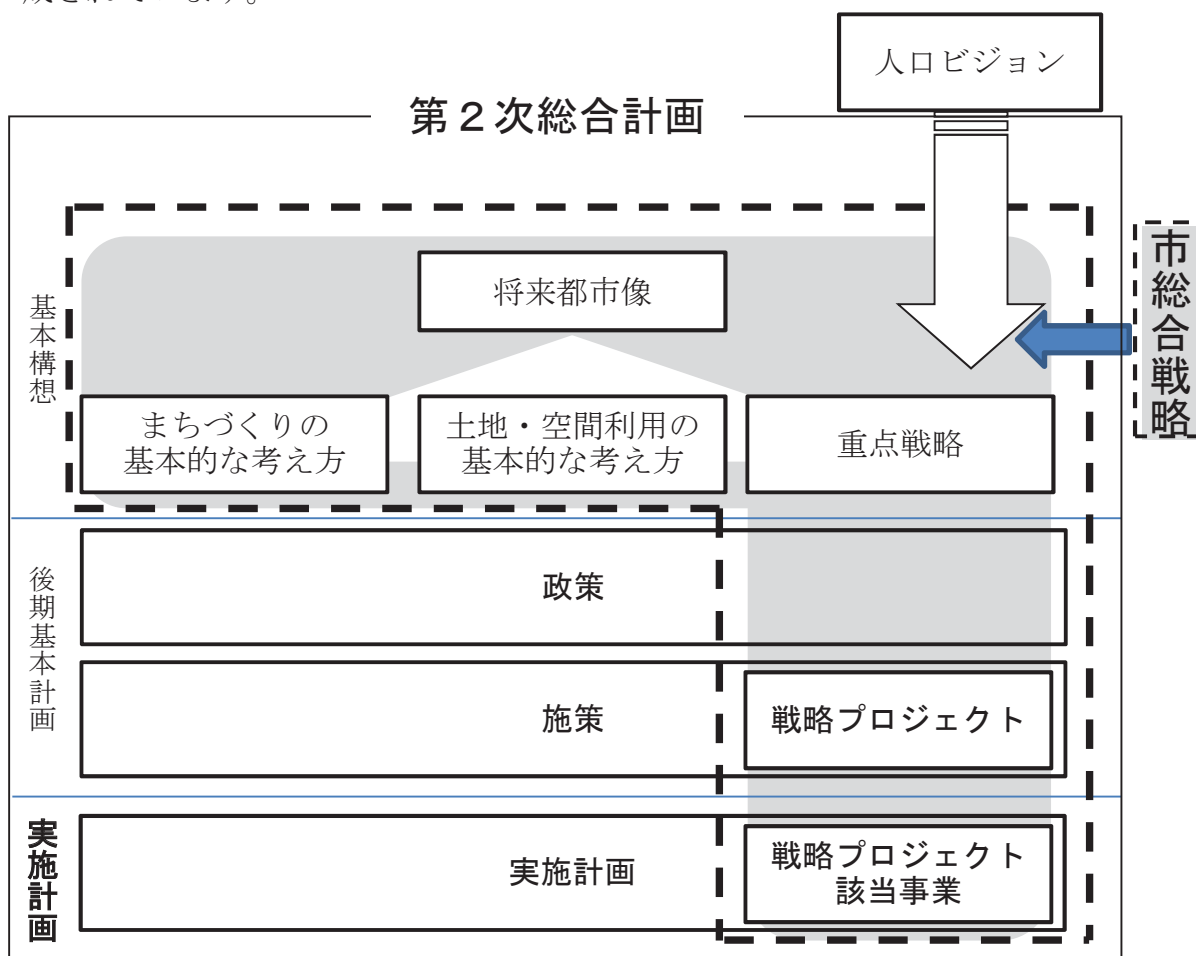
令和2年度実施計画 97.21億円、215事業※



※ 後期基本計画の4年間で実施する全255事業のうち、令和2年度に実施するものは215事業

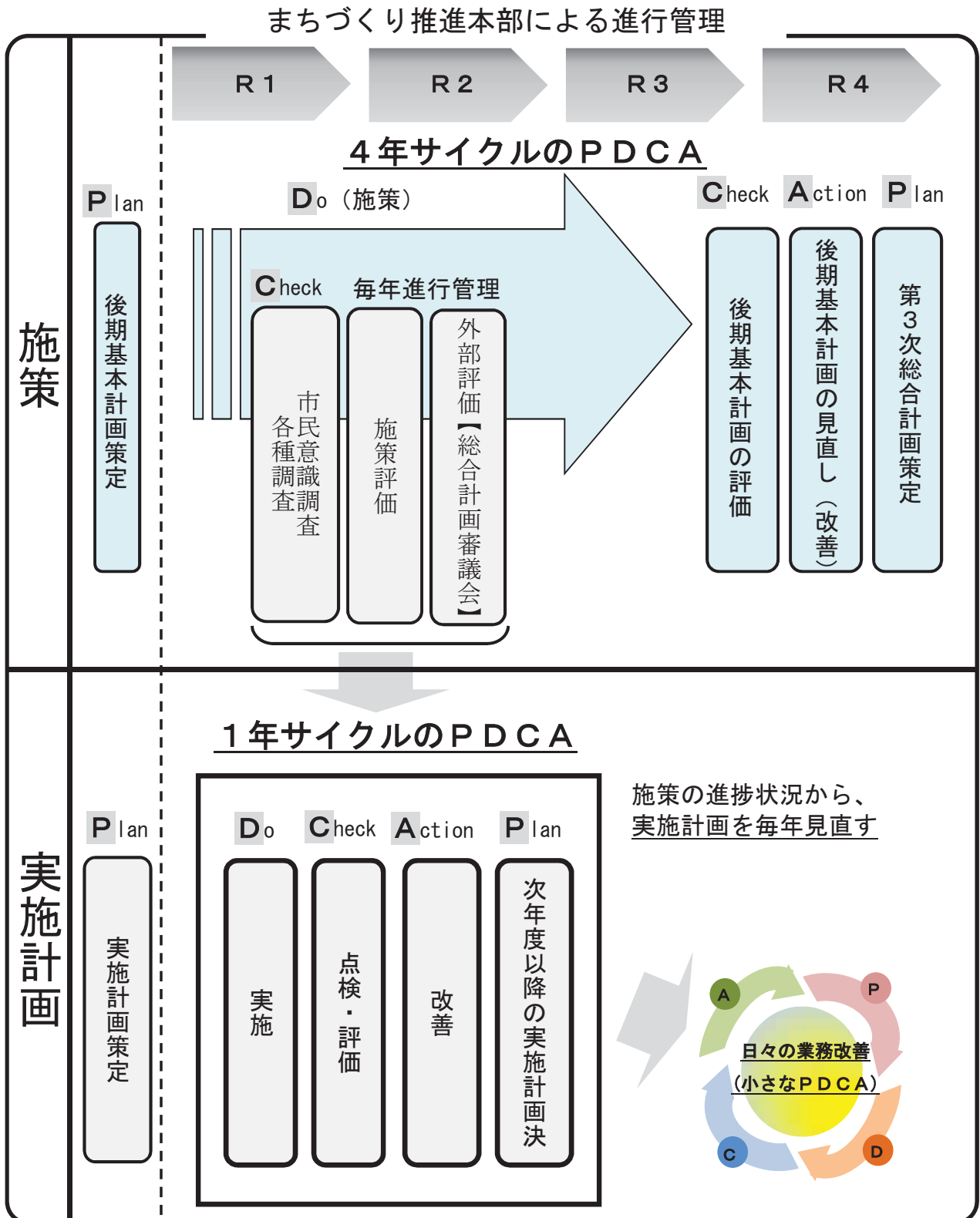
4 まち・ひと・しごと創生総合戦略と実施計画との関係

平成27年3月に策定した「牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第2次総合計画の基本構想、後期基本計画の重点プロジェクト、戦略プランにより構成されています。



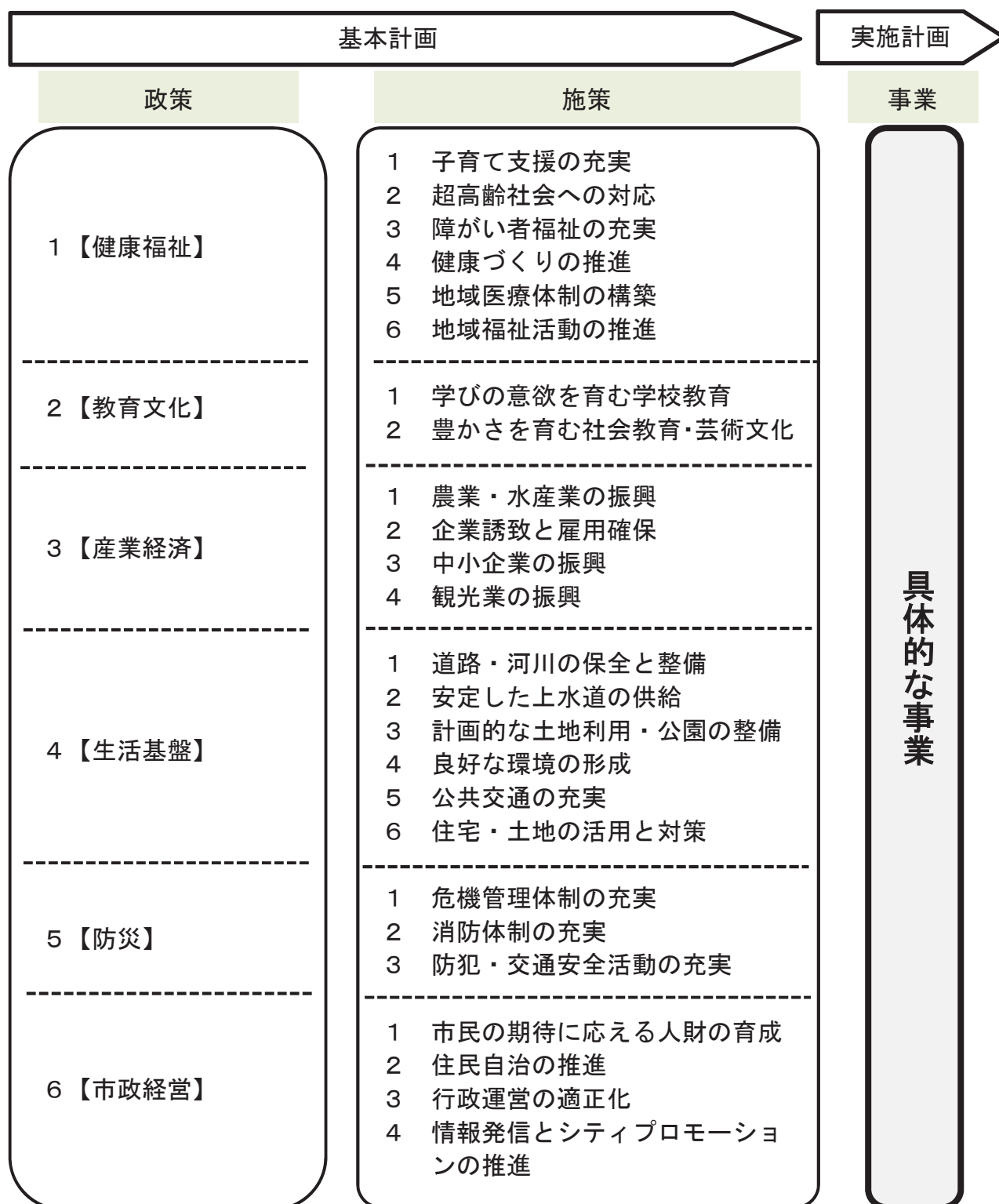
5 実施計画の進行管理

市長を本部長とする「まちづくり推進本部」による進行管理のもと、施策の進捗状況から実施計画を毎年見直します。各課・個人が役割と目標を自覚し、日々の業務改善（小さなPDCA）を徹底するとともに、1年サイクルにおいては外部評価も実施し、施策目的が達成されるための実施計画を構築します。



■第2 実施計画

実施計画とは、第2次総合計画における基本計画の6つの政策、25の施策に基づく具体的な事業です。



施策 1 子育て支援の充実

1 方向性

(1) 子どもを産み育てやすい環境づくり

- ・子どもが健やかに育ち、子どもを産み育てやすい環境づくりを計画的に進めます。
- ・社会全体で子どもや子育てを行う親を支援し、楽しく子育てができる体制や子育てと仕事が両立できる職場環境の整備などを関係団体と連携して進めていきます。
- ・妊娠、出産、育児までの切れ目ない母子保健の支援を行います。

(2) 育児に関する相談などの支援

- ・子どもに対する虐待を防止するため、早期発見のための啓発や研修を実施します。
- ・こどもセンターを拠点として、子どもの成長過程に関する情報の一括管理、発達に課題のある子どもや保護者への専門的支援、育児全般に関する相談などの切れ目ない支援を行います。

(3) 子育て支援に必要な交流拠点の確保

- ・子育て支援センター、放課後児童クラブ、児童館などの拠点を活用し、子育ての不安感や孤立感の緩和、子育て中の親や子どもの交流等を促進します。

(4) 保育、幼児教育の充実

- ・私立の保育園、幼稚園の認定こども園化を支援することで低年齢児保育、一時預かり保育、病後児保育などに係るサービスを拡充し、保育ニーズに対応します。
- ・公立保育園などの民営化などを計画的に進めていきます。

(5) 子育て世帯の経済的負担の軽減

- ・妊産婦の通院、子ども医療費などの経済的な負担を軽減するための支援を行います。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	現状値※1	目標値
合計特殊出生率	1.42	1.70
子どもを産み育てやすい環境だと感じる人の割合	40.1%	49.8%
子育て支援の取組に対する市民満足度	55.8%	61.2%
幼稚園、保育園、認定こども園等の充実への取組に対する市民満足度	64.2%	68.4%
こども医療費制度への取組に対する市民満足度	74.8%	75.5%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
子ども・子育て支援事業計画策定事業 【継続】 <u>子ども子育て課</u>	教育・保育及び地域子育て支援事業を提供する体制の整備と、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域で支援する環境の整備に取り組むための施策を体系化し、実施していく子ども・子育て支援計画を策定。	子ども・子育て会議の開催（3-5回） 第2次子ども・子育て支援事業計画策定	子ども・子育て会議の開催（2回）	継続	継続	225 千円
子育て支援連携システム運用事業 【継続】 <u>子ども子育て課</u> <u>健康推進課</u> （学校教育課）	ICTシステムを活用し、子どもの健康状態を電子データ化することで業務の効率化を図るとともに保護者への効果的な情報発信を行う。また、子育て中の家庭が必要とする様々な情報を発信し、子育ての利便性を高め楽しんで子育てができる環境を整える。	システム等運用保守 登録勸奨 広報強化	継続	継続	継続	3,036 千円
ファミリーサポートセンター運営事業 【継続】 <u>子ども子育て課</u>	子どもを一時的に預けたい人とその支援をしたい人が会員となり、相互支援を行う。仕事と子育てを両立できる環境や地域で子育てを支援する体制を整え、子育て世帯の負担を軽減する。	会員登録 受付 相互支援 実施	継続	継続	継続	540 千円
親子絆づくり事業 【継続】 <u>こどもセンター</u>	育児不安や負担の軽減を図り、子育てに自信を持ってもらうため、参加者中心型プログラムを通じて、子育てのスキルを提供する。また、セミナーのファシリテーターや気軽に子育てを応援できる人材を育成する。	子育て支援セミナーの開催 ベビープログラム等の開催 サポータースキルアップ研修会開催	子育て支援セミナーの開催 ベビープログラム等の開催 サポータースキルアップ研修会開催	継続 継続 子育てヤングサポーター養成講座	子育て支援セミナーの開催 ベビープログラム等の開催 サポータースキルアップ研修会開催	514 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
母子保健衛生事業 【継続】 健康推進課	母と子の心身の健康づくりを支援するため、また、妊娠を希望する夫婦が妊娠できるようにするため、必要となる相談、健診、助成を実施。	母子健診や相談、妊産婦健診産後ケアの実施聴覚スクリーニング費用不妊・不育症治療費助成母子保健情報連携システム改修	母子健診や相談、妊産婦健診産後ケアの実施聴覚スクリーニング費用不妊・不育症治療費助成小児生活習慣病予防事業	継続	継続	42,158 千円
家庭児童相談事業 【継続】 こどもセンター	適正な児童養育やDV被害の相談支援のため、家庭児童相談室を運営。	児童・DV相談、要保護児童等対策地域協議会運営、虐待初期対応等研修会開催、DV被害者等施設入所措置	継続	継続	継続	2,726 千円
こどもセンター運営事業 【継続】 こどもセンター	育児全般に関する相談支援や関係機関との調整を行い、妊娠期から就労期まで節目におけるギャップのない「切れ目ない子育て支援」を実施。	発達支援専門相談発達支援コーディネーター等の人材育成園巡回訪問、連携会議の開催	発達支援専門相談発達支援コーディネーター等の人材育成園巡回訪問、連携会議の開催、市民セミナーの開催	継続	継続	2,758 千円
放課後児童クラブ運営事業 【継続】 子ども子育て課	児童の健全育成及び保護者の仕事と子育ての両立を推進するため、児童に適切な遊びや生活の場を提供。	放課後児童クラブの運営	継続	継続	継続	16,431 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
児童館運営事業 【継続】 <u>こどもセンター</u>	子どもに健全な遊びの機会を与え、健康増進と情操を豊かにするため、児童館において各種教室を開催。	児童館の運営 各種教室の開催 施設修繕	継続	継続	継続	3,361千円
子育て支援センター運営事業 【継続】 <u>こどもセンター</u>	子育ての不安感や孤立感を緩和するとともに、子どもたちの健やかな成長を支援するため、子育て支援センターを運営し、子育て中の親や子どもの交流等を促進。	公設子育て支援センターの運営 (2箇所) 民営子育て支援センター委託	継続	継続	継続	11,637千円
保育の質量確保事業 【継続】 <u>保育園民営化推進室</u>	保育の質を確保するため、私立保育園等の施設整備への助成を行うとともに、公立保育園の施設改修を行う。	私立幼稚園の認定こども園化についての検討 公立保育園等改修工事	—	私立保育園等の施設整備助成について検討 公立保育園等改修工事	継続	—
保育園等施設マネジメント計画管理事業 【継続】 <u>保育園民営化推進室</u>	幼児教育・保育サービスの向上を図るため公立保育園、幼稚園、認定こども園の施設マネジメント計画を策定・実施。	個別計画の策定	牧之原市公立保育所民間移管審査委員会による審査実施	施設マネジメント計画の実施	継続	2,943千円
児童手当支給事業 【継続】 <u>子ども子育て課</u>	子育て世帯の生活の安定と次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、中学校修了までの児童に対して、児童手当を支給。	児童手当の支給	継続	継続	継続	695,746千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
未熟児養育 医療費助成 事業 【継続】 子ども子育て課	医療を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療費を助成。	未熟児への医療費の助成	継続	継続	継続	3,064 千円
母子家庭等 対策総合支 援事業 【継続】 子ども子育て課	母子家庭及び父子家庭の母父の自立促進を図るため、就業に役立つ技能や資格取得のための費用を助成。	ランドセル購入費用の一部助成 技能資格取得の費用助成	継続	継続	継続	2,200 千円
児童扶養手 当支給事業 【継続】 子ども子育て課	ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進のため、18歳までの子どもを扶養しているひとり親家庭に対して、児童扶養手当を支給。	児童扶養手当の支給	継続	継続	継続	144,525 千円
母子家庭等 医療費助成 事業 【継続】 子ども子育て課	母子家庭等の経済的負担の軽減と早期受診による児童や保護者の健全な生活を支援するため、医療費を助成。	20歳未満の子を扶養しているひとり親及びその子に対し、医療費を助成	継続	継続	継続	7,474 千円
こども医療 費助成事業 【継続】 子ども子育て課	子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成のため、高校生までの医療費を助成。	高校生等までの入院、通院にかかる医療費（保険診療分）の助成	継続	継続	継続	199,737 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
多子世帯経済的負担軽減事業 【完了】 子ども子育て課	多子世帯の経済的負担を軽減し、自らの希望に基づき、第3子以降が産める環境を整備するため、第3子以降世帯に対して経済的支援を実施。	多子世帯への経済的支援 3歳児以上第3子以降の保育料無償化(～9月) 3歳児以上第3子以降の副食費無償化(10月～)	—	—	—	—
民間保育所等支援事業 【新規】 子ども子育て課	私立保育所及び私立認定こども園が行う教育・保育や各種サービスがスムーズに展開できるよう、補助金等を交付し運営の推進を図る。	—	保育サービスを支援するための各種補助金の交付等	継続	継続	48,051 千円
満3歳児以上第3子以降園児に係る副食費助成事業 【新規】 子ども子育て課	多子世帯の経済的負担を軽減し、自らの希望に基づき、第3子以降が産める環境を整備するため、第3子以降世帯に対して経済的支援を実施。	—	3歳児以上第3子以降の副食費無償化	継続	継続	270 千円
妊産婦通院等支援事業 【継続】 健康推進課	榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成。	通院等に要する費用の一部助成(300人)	継続 (295人)	継続 (290人)	継続 (285人)	6,900 千円

1 方向性

(1) 地域包括ケアシステムの構築

- ・ 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築を進めます。
- ・ 高齢者の活動や活動の場の確保を支援し、元気に活躍する高齢者を増やします。
- ・ 関係機関との連携を強化し、高齢者とその家族が適切で切れ目ない介護、福祉、医療サービスを利用できるようにします。

(2) 健康づくりと介護予防の推進

- ・ 健康づくりや介護予防のため、介護予防教室後の共食の場活動、市の歌を活用した介護予防体操、リハビリ職によるロコモティブシンドローム予防と重度化防止を進めます。

(3) 生きがいを感じる生活支援の充実

- ・ 高齢者が生きがいを感じ、自分らしく充実した生活を送るとともに、就労や社会参加活動、趣味などを通じて家庭や地域に貢献できるよう生活支援の仕組みを充実します。

(4) 地域見守り、集いの場の充実

- ・ 高齢者が家庭や地域で孤立しないよう、地域の見守りや支え合い、集いの場の充実などを進めます。

(5) 介護保険制度の運営

- ・ 介護給付の適正化のため、介護サービス事業者への指導を強化、充実していくとともに、国の制度改正に適切に対応し、介護保険の安定した運営に努めます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
60歳以上の高齢者の外出頻度（週4～5日以上）	61.8%	66.6%
高齢者ふれあい・いきいきサロンの団体数	44 団体	49 団体
介護保険認定者で介護度が維持（軽減）できた人の割合	59.4%	70.0%
高齢者への福祉サービスの取組に対する市民満足度	51.2%	61.4%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
生活支援・介護予防充実・強化事業（特会） 【継続】 長寿介護課	高齢者が地域で生きがいを持ち、生き活きとその人らしく生活ができるよう、生活支援コーディネーターや社会福祉協議会が中心となり、ボランティアの発掘・養成・組織化を行い、生活支援の受け皿を構築。	ボランティアの育成、支援、組織化協議体の開催 第3層協議体の検討包括の相談業務の充実介護予防サービス	継続	ボランティアの育成、支援、組織化協議体の開催 包括新体制の稼働包括の相談業務の充実介護予防サービス	ボランティアの育成、支援、組織化協議体の開催 包括の相談業務の充実介護予防サービス	147,275千円
認知症予防対策推進事業（特会） 【継続】 長寿介護課	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活し続けられる社会の実現のため、認知症の予防啓発事業の実施や講演会の開催、認知症地域支援推進員の配置等を実施。	認知症地域支援・ケア向上事業の実施 認知症初期集中支援チームの稼働	継続	継続	継続	1,875千円
いきいき高齢者支援事業 【継続】 社会福祉課	高齢者が健康で生きがいを持って健やかに暮らすことができるよう、また、要介護などの状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活できるようにするため、既存団体を活用した見守り支援や包括的な支援を実施。	補助金の交付（シニアクラブ、サロン団体） 高齢者福祉サービスの実施	継続	継続	継続	16,249千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
介護保険事業計画等策 定事業 【継続】 長寿介護課	介護保険事業の円滑な事業推進を図るため、人口推計や各種サービスの利用量などを分析し、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定。	第7期介護保険等事業計画等の進捗管理 次期計画等の策定のためのアンケート調査実施 懇話会開催（全体会3回、部会3回実施）	継続 第8期介護保険等事業計画等の策定 パブリックコメントの実施 懇話会開催（全体会4回、部会4回）	第8期介護保険等事業計画等の進捗管理 懇話会開催（全体会3回、部会3回） 懇話会開催（全体会3回、部会3回実施）	継続 次期計画等の策定のためのアンケート調査実施 懇話会開催（全体会3回、部会3回実施）	4,358千円
老人福祉施設整備事業 【継続】 長寿介護課	現状分析や在宅介護実態調査等により必要な施設サービスの事業量を推計し、介護保険事業計画に老人福祉施設整備方針を位置付け、事業者への補助金交付等による施設整備の促進及び維持を図る。	サービス見込量の進捗管理、現状分析 第8期計画における施設整備方針を検討 地域密着型老人福祉施設における補助金交付	継続 施設整備の方針決定 第8期介護保険事業計画へ位置づけ	介護保険等事業計画に基づき、施設整備を行う事業者を公募 選定委員会で事業者を決定 サービス見込量の進捗管理、現状分析	選定委員会で選定した事業者の施設整備費への補助金交付 サービス見込量の進捗管理、現状分析	4,262千円
アクティブシニア活躍支援事業（特会） 【新規】 長寿介護課	「介護人材確保」と「高齢者の社会参加による介護予防」を一体的に進めるため、元気高齢者の介護現場における活躍支援事業を実施する。	介護人材確保に係る研修及び就労マッチング支援	介護人材確保に係る研修及び就労マッチング支援 前年度事業の評価・検証	継続	継続	3,767千円

1 方向性

(1) 安心して暮らせる地域づくり

- ・ 全ての人々が地域社会の中で認め合い、支え合い、寄り添い、安心して幸せに暮らせる温もりある地域社会づくりを計画的に進めます。
- ・ 障がいのある人が安心して外出し、交流することができるようバリアフリーやユニバーサルデザインを推進します。

(2) 社会参加しやすい環境づくり

- ・ 障がいに対する理解を深めるための啓発、交流の場や活動機会の創出、ボランティアなどの社会参加がしやすい環境づくりに取り組みます。

(3) 各種サービスの提供、保育、教育、療育の充実

- ・ 障がいのある人の生活の質を向上するため、障害者総合支援法などに基づき、障がいのある人の状況やニーズに応じた保育、教育、療育、その他の多様なサービスの充実を図ります。

(4) 雇用、就労の促進

- ・ 障がいのある人が経済的に自立し、主体的で生きがいある生活を送るため、各種支援制度を活用して、生き活きと働ける雇用や就労を促進します。

(5) 災害時のネットワーク、防災体制の構築

- ・ 災害時に支え合える地域づくりや障がいの種別、状態、特性などに対応した防災体制の整備を進めます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
障がいのある人にとって暮らしやすいと感じている人の割合	24.1%	50.0%
障がい者雇用率	3.1%	3.0%
障がい者への福祉サービスの取組	50.3%	61.7%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
障害者計画 等策定事業 【継続】 <u>社会福祉課</u>	障がいのある人の人権が尊重され、自立と社会参画を進めるため、保健・医療・福祉分野のみならず、啓発面や教育・就業・生活環境など、長期的な施策を体系化し、実行する障害者計画を策定。	第3次障がい者計画の進捗管理	アンケートの実施策定委員会の開催（2回）	第3次障がい者計画の進捗管理	アンケートの実施策定委員会の開催（2回）	1,899 千円
相談支援事業 【継続】 <u>社会福祉課</u>	障がい者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができるようにするため、相談に応じ、必要な情報提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な支援を実施。	相談支援専門員による相談や情報提供（5,550件）	継続 基幹相談支援センター設置準備	継続 基幹相談支援センター	継続	28,937 千円
地域活動支援センター 運営事業 【継続】 <u>社会福祉課</u>	障がい者の社会的孤立感の解消や社会交流促進のため、通所施設において、創作活動や生産活動の機会を提供し、地域で自立した日常生活が営めるよう支援。	精神障がい者等の居場所確保等を実施（延4,284人）	継続	継続	継続	12,750 千円
意思疎通支援事業 【継続】 <u>社会福祉課</u>	聴覚、言語機能、音声機能障がい者等への意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者や要約筆記者を派遣。また、手話通訳者を養成する講座を開催。	聴覚障がい者の通院時等に手話通訳者等を派遣（延75人） 手話奉仕員養成講座を開催（入門講座21講座） 田沼意次生誕300年記念事業（手話・要約筆記派遣延30人）	継続（延82人） 手話奉仕員養成講座を開催（基礎講座25講座）	継続（延75人） 手話奉仕員養成講座を開催（入門講座21講座）	継続（延82人） 手話奉仕員養成講座を開催（基礎講座25講座）	1,268 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
難病患者介護家族リフレッシュ事業 【継続】 社会福祉課	介護に従事している難病患者の家族の負担を軽減するため、看護師を派遣。	難病患者の介護家族に看護師を派遣(24回)	難病患者の介護家族に看護師を派遣(8回)	継続	継続	96千円
移動支援事業 【継続】 社会福祉課	障がい者等が地域で自立した日常生活を営むとともに社会参加を促すため、外出のための支援を実施。	買い物等の外出を支援するガイドヘルパーを派遣(2,530件)	継続	継続	継続	7,571千円
日中一時支援事業 【継続】 社会福祉課	障がい者等の家族の就労支援及び一時的な休息を確保するため、障がい者等の日中における活動の場を提供し、日常的な訓練等の支援を実施。	自立指導等の実施(550件)	継続	継続	継続	1,530千円
日常生活用具給付事業 【継続】 社会福祉課	障がい者等の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具等を給付。	膀胱ろう機能障がい者等にストーマ装具等を給付(1,286件)	継続	継続	継続	13,964千円
身体障がい者・児補装具給付事業 【継続】 社会福祉課	身体障がい者(児)等の生活支援のため、身体機能を補完、代替する用具を給付。	下肢機能障がい者等に車イス等を給付(85件)	継続	継続	継続	8,660千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
訪問入浴サービス事業 【継続】 社会福祉課	在宅の身体障がい者等の生活を支援するとともに、身体の清潔の保持や心身機能の維持等を図るため、訪問により入浴サービスを提供。	重度の障がい者を訪問し、入浴サービスを実施 (300件)	継続	継続	継続	3,170千円
つくしの家管理運営事業 【継続】 社会福祉課	障がい児が自立した日常生活、集団生活が営むことができるようにするため、日常生活における動作指導、知識技術の付与、集団生活への適応訓練などの支援を実施。	療育訓練が必要な障がい児に個別指導等を実施	継続	継続	継続	31,000千円
介護給付費等事業 【継続】 社会福祉課	障がい者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができるようにするため、指定障がい福祉サービス事業者から障がい福祉サービスを受けたときに要した費用を給付。	受給資格者が福祉サービスを受けた時に要した費用をサービス提供事業者に給付 (延べ10,043人)	受給資格者が福祉サービスを受けた時に要した費用をサービス提供事業者に給付 (延べ10,156人)	継続	継続	898,043千円
施設入浴サービス事業 【継続】 社会福祉課	自宅浴槽での入浴が困難な身体障がい者等が身体の清潔の保持や心身機能の維持等を図るため、施設の入浴設備を利用し、入浴サービスを提供。	在宅障がい者(児)に入浴サービスを実施(944件)	継続	継続	継続	10,257千円
自立支援医療給付事業 【継続】 社会福祉課	身体障がい者等の自立支援のため、指定医療に対する医療費を助成。	身体障がい者への心臓手術等に対し医療費助成 (296件)	継続	継続	継続	24,212千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
重度障害者 (児)医療 費助成事業 【継続】 社会福祉課	重度の障がい者(児)に対して、医療費の自己負担額を助成。	重度障がい者への医療費助成(28,100件)	継続	継続	継続	98,667千円
つくしの家・つくしホーム、こづつみ作業所劣化改修工事業 【完了】 社会福祉課	指定管理施設(つくしの家・つくしホーム・こづつみ作業所)の老朽化に対する改善を図るため、劣化調査により改修が必要とされた個所の改修工事を実施する。	管理業務委託及び改修工事	—	—	—	—

1 方向性

(1) 市民総がかりでの健康づくり

- ・ 地区担当の保健師を配置し、地域の健康課題と目標を明確にするとともに、積極的な地区活動を展開します。
- ・ 市民一人ひとりが健康を意識した生活を実現するために、行政、企業、関係団体等の協働・連携による健康づくりを推進します。

(2) 健康の保持

- ・ 病気や介護の予防に重点を置き、各種健診の充実や妊娠期を含め乳幼児から高齢期までのライフステージに応じたサービスを提供します。
- ・ 生活習慣の改善のための予防啓発を進めます。
- ・ 楽しみながら取り組める工夫や幼少期からの教育などにも取り組んでいきます。

(3) 食育の推進

- ・ 全てのライフステージに共通する栄養については、地域の特産品を活かした特色ある食育に併せ、社会環境整備を更に推進して、健全な食生活による健康づくりを目指します。

(4) 運動による健康づくり

- ・ メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、認知症予防などに効果的な軽スポーツや体操の普及を進めます。
- ・ 気軽にスポーツや運動を楽しめる環境を整備します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
お達者度（男性）	17.88	19.08
お達者度（女性）	20.92	21.84
75歳未満調整死亡率	199	160
1日30分以上の運動をする頻度	35.3%	47.0%
健康づくりサービスの推進への取組に対する市民満足度	54.9%	65.3%
健康相談など日常的な保健活動への取組に対する市民満足度	55.1%	67.1%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
健康増進支援事業 【継続】 健康推進課	市民の健康寿命の延伸や生活の質向上のため、健康増進計画、食育推進計画に基づき、ライフステージに合わせた健康づくり事業を実施。企業における健康づくり事業の企画及び実施を支援。自治会主体の健康に関する事業実施を推進。	計画策定会議 (14回) 計画推進イベント 2回 ヘルシーメニュー推進協力店 (27店舗) 健康マイレージ (250人) 受動喫煙対策の啓発 自殺対策の推進 保健師の地区担当制の推進 計画策定・策定会議	計画推進会議 (11回) 計画推進イベント 2回 ヘルシーメニュー推進協力店 (30店舗) 健康マイレージ (地域ポイント) 受動喫煙対策の啓発 自殺対策の推進 保健師の地区担当制の推進 ウォーキングコース整備	継続 継続	継続 継続	2,310 千円
予防接種事業 【継続】 健康推進課	感染症の蔓延を防ぎ、市民の健康維持を図るため、集団・個別接種による定期予防接種を実施、勧奨。	個別・集団接種の実施、勧奨 高齢者肺炎球菌経過措置延長	個別・集団接種の実施、勧奨 高齢者肺炎球菌経過措置延長 風しん第5期予防接種	継続	個別・集団接種の実施、勧奨 高齢者肺炎球菌経過措置延長	120,261 千円
がん健診等推進事業 【継続】 健康推進課	市民の総合的な健康増進を図るため、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を図る健康づくり事業を実施。	複合がん検診 (57日) 婦人科検診(15日) 健康教育 (150回) 健康相談 (100日) 訪問指導 (600件) 世帯票収集	複合がん検診 (57日) 婦人科検診(15日) 健康教育 (150回) 健康相談 (100日) 訪問指導 (600件)	継続	継続	34,173 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
社会体育振 興事業 【継続】 スポーツ推進室	心と身体の健康づくりのため、スポーツ推進委員を中心にスポーツの普及を図るとともに運動の機会を提供。	健康スポーツ教室等の推進（幼児運動、吹き矢など軽スポーツの普及、大会開催） マリンスポーツイベント開催	継続	継続	継続	6,302 千円
ウォーキング大会支援事業 【廃止】 スポーツ推進室	ウォーキングしながら牧之原市の自然の魅力を感じてもらうウォーキング大会の開催を支援。	事業実施の支援	—	—	—	—
グラウンド芝生化事業 【継続】 スポーツ推進室	屋外社会体育施設グラウンドの芝生化について実施に向け検討する。	グラウンド芝生化整備、運営手法の検討	継続	継続	継続	0 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
社会体育施設修繕事業 【新規】 スポーツ推進室	既存体育施設の機能を充実させるため、計画的に施設修繕を実施する。	—	片浜、仁田、B&G及びぐりんぱる管理棟雨漏り修繕 社会体育施設夜間照明修繕、雨漏り修繕、グラウンド整備等 相良総合グラウンド西側トイレ撤去	相良総合グラウンド大規模改修 社会体育施設夜間照明修繕、雨漏り修繕、グラウンド整備等	榛原総合運動公園ぐりんぱる大規模改修 社会体育施設夜間照明修繕、雨漏り修繕、グラウンド整備等	2,339千円

1 方向性

(1) 地域医療の充実

- ・医療関係者と協議を進め、榛原総合病院の運営を含めた地域医療の充実に努めます。

(2) 保健医療圏での連携、ネットワークの構築

- ・医療法による保健医療圏での医療体制に基づき、開業医を中心とした一次救急、榛原総合病院を中心とした二次救急及び救急医療の体制を整備します。
- ・二次救急においては、志太榛原二次保健医療圏の病院相互の連携における榛原総合病院の役割を明確化するなど、周辺市町と連携した医療ネットワークを構築します。

(3) 医師の確保

- ・開業医などの医療関係者と市民による検討会を通じて、地域医療の現状や志太榛原二次保健医療圏における役割を共に学びながら、市全体で地域に必要な医療の確保に努めます。
- ・地域医療の支えとなる開業医の確保についても医師会等と連携しながら積極的に取り組みます。

(4) 在宅医療の推進

- ・在宅医療については、地域や家庭で支え合うことへの市民の理解を深めるとともに、医療関係者や福祉関係者との連携体制を構築し、推進します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
開業する医師数（4年間）	0件	2件
在宅医療連携拠点の整備	50.0%	60.0%
救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制の取組に対する市民満足度	28.0%	44.9%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

※2 榛原総合病院で受けた救急患者を2次医療圏内の他病院へ転送した割合

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
医療体制整備事業 【継続】 健康推進課	地域の中核病院である榛原総合病院の安定的な運営のため、構成市町として榛原総合病院組合の病院事業会計へ負担金を繰り出す。	榛原総合病院組合への負担金繰出し 負担率 66.615%	継続 負担率 66.355%	継続 負担率 66.095	継続 負担率 未定	782,989千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
地域医療対策事業 【継続】 健康推進課	救急医療を提供するため、救急医療知識の普及啓発を図るとともに、救急患者に即応する医療体制を確立。 市内医療関係機関との連絡調整及び協議の場を設置し、地域医療の確保に努める。	救急医療体制の確立	継続	継続	継続	20,720 千円
地域医療振興事業 【継続】 健康推進課	市内に診療所等を開設する医師等に対し、開設等にかかる費用の一部を助成することによって、市民が安心して医療サービスを受けることができる医療体制を構築。市民参加による地域医療のあり方検討会を開催し、検討会の提言を基に地域医療計画を策定する。	開業資金補助 新規開業1件 補助金パンフレット更新	開業資金補助 新規開業1件 地域医療のあり方検討会の開催	開業資金補助 新規開業1件 地域医療計画策定	開業資金補助 新規開業1件	50,486 千円

1 方向性

(1) 地域共生社会の実現

- ・地域における複合的な課題の解決のため、高齢者、障がいのある人、子どもその他の福祉に関し、共通して取り組むべき事柄を示した地域福祉計画を推進します。

(2) 担い手の育成と連携体制の構築

- ・地域福祉に係る情報発信や啓発活動を通じ、市民の主体的な取組意識を高めます。
- ・活動の担い手を支援し、地域福祉を担う人材を育成します。
- ・市民の主体的な学びや活動への参加である自助を中心として、支え合いによる共助、行政の取組である公助に取り組むため、各種団体が連携・協働した推進体制を構築します。

(3) 地域を基盤とする包括的支援の強化

- ・地域包括ケアシステムの理念を高齢者のみに留めず、障がいのある人、子ども、生活困窮者等への支援にもあてはめ、社会的な孤立、制度の狭間、福祉サービスにつながらない課題等にも対応した包括的な支援体制を構築します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
ボランティア登録者数	737 人	760 人
地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組に対する市民満足度	48.1%	56.4%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
地域福祉計画等策定事業 【継続】 社会福祉課	地域福祉の推進において、行政や社会福祉協議会だけでなく、市民の福祉への参加・協力のもと、それぞれが役割を果しながら助け合い、支え合っていくための施策を体系化し、実行していく地域福祉計画を策定。	—	進捗管理	推進協議会の開催 (1回)	推進協議会の開催 (2回) アンケート実施	0 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
静和会館大規模改修事業 【継続】 社会福祉課	地域住民の交流拠点となる隣保館の老朽化に対する改善を図るため、屋上防水、外壁クラック補修及び塗装等の大規模改修を実施。	改修工事基本設計	県への申請国のヒアリング	改修工事実施設計	改修工事（屋根雨漏り修繕、外壁塗装等）	0千円
社会福祉協議会事業費助成事業 【継続】 社会福祉課	住民がお互いに支え合う地域福祉活動の推進を図り、住み慣れたまちで安心して生活することができるようにするため、地域福祉活動の中核となる社会福祉協議会に補助金を交付。	市社協に補助金を交付社会福祉主事等の確保に協力	継続	継続	継続	62,717千円
生活困窮者自立相談支援事業 【継続】 社会福祉課	生活保護の手前の段階にある生活困窮者の支援を図るため、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、家計改善支援事業、学習支援事業及び就労準備支援事業を実施。	自立相談支援住居確保給付金被保護者就労支援家計改善支援学習支援就労準備支援	継続	継続	継続	25,689千円
成年後見制度利用促進事業 【継続】 社会福祉課	認知症や障害などによって、判断能力が十分でない高齢者や障害者の権利を守るため、成年後見制度の利用を支援する体制を構築する。	中核機関の機能整理基本計画内容の協議法人後見開始（社協）制度啓発講演会	中核機関設置、運営市民後見人の養成協議会の開催利用促進基本計画策定	中核機関運営市民後見人の養成協議会の開催	継続	6,140千円

1 方向性

(1) 確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育

- ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。
- ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。
- ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。
- ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。

(2) きめ細かな学校生活の支援

- ・牧之原市で生まれ育った全ての児童生徒が充実した教育を受けられるように、特別支援教育を更に充実します。
- ・いじめ、不登校、問題行動などの防止、早期発見、解決を図るための相談体制を充実します。

(3) 学校施設の改修と更新

- ・学びやすい教育環境の実現に向け、施設や設備の改修等を行います。
- ・教育のあり方検討委員会からの答申を基に学校のあり方（小中学校の配置や規模）の検討を進めます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
授業がわかると思う児童・生徒の割合	96.7%	90.0%
英語が好きという児童・生徒の割合	88.7%	90.0%
ICTを使って分かりやすく、発表や表現ができる児童・生徒の割合	67.4%	85.0%
子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	49.6%	61.9%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
学校図書館 司書配置事業 【継続】 学校教育課	授業で活用する本や資料の準備、子どもたちが気軽に活用できる図書室の環境づくりのため、学校図書館司書を配置し、市内全校の図書室を充実。	図書館司書4名による図書室の環境整備、図書の授業への活用推進 各校へ小中学生用新聞を配備	継続	継続	継続	0千円 ※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上
学習支援サポーター配置事業 【継続】 学校教育課	学習内容における基礎基本を確実に習得するため、児童生徒の様々な特性に応じた学習活動の支援を行い、きめ細やかな授業を実践	学習内容につまづく児童生徒の支援、特別な支援が必要な児童生徒への支援を実施 市内で19人配置	学習内容につまづく児童生徒の支援、特別な支援が必要な児童生徒への支援を実施 市内で21人配置 榛原中・相良中増	継続	継続	0千円 ※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上
英語力向上サポート事業 【継続】 学校教育課	児童生徒がこれからの国際社会に必要な資質やコミュニケーション能力を養うため、ALT(外国人英語指導助手)を配置して外国語活動を低学年から行なうとともに、長期休暇を利用したイングリッシュキャンプを企画実施。	ALT配置(5.5人) 外国語活動の実施(小1-6) イングリッシュキャンプ ^o の実施 英語能力判定テスト実施 英検へのチャレンジ ^o 外国語活動研修会	ALT配置(5人) 外国語活動の実施(小1-6) イングリッシュキャンプ ^o の実施 英検へのチャレンジ ^o 外国語活動研修会	継続	継続	22,880千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
ICT活用 推進事業 【継続】 学校教育課	学習内容の定着を高めるため、さらに情報機器の活用力を身につけるために、校内LANや電子黒板、タブレット等を整備し、実践研究を進める。また、民間と連携したプログラミング学習を通し、児童生徒の論理的思考力や問題解決能力等を育む。	ICTアドバイザー、プログラミング学習講師 簡易備品更新 サーバー・インターネット使用 無線LANアクセスポイント購入	ICTアドバイザー、プログラミング学習講師 簡易備品更新 サーバー・インターネット使用 端末整備 校内ネットワーク・電源キャビネット整備	ICTアドバイザー、プログラミング学習講師 簡易備品更新 サーバー・インターネット使用 端末整備	継続	2,270千円 ※繰越し 200,500千円
学びと育ちをつなぐ小 中連携事業 【継続】 学校教育課	市が推進するICT教育、外国語教育、コミュニティースクール、小中一貫教育を浸透させるため、大学教授等専門家を招聘し、指定研究校を申請して授業研究会を実施する。	坂小、細小を研究校指定 校内研修・研究発表会実施(1回)	講演会を実施	研究成果発表	継続	0千円
理科支援員 配置事業 【継続】 学校教育課	理科授業をより効果的に進め、児童が理科への興味関心を高め、学力向上につなげる。理科支援員を4名配置し、実験準備など理科授業の環境整備の支援。	理科授業の環境整備を支援(理科支援員4人配置)	継続	継続	継続	0千円 ※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
コミュニティ・スクール推進事業 【継続】 <u>学校教育課</u> <u>社会教育課</u> <u>教育総務課</u>	地域と学校が同じ目標に向かって教育活動を推進するため、組織を立ち上げ、地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールの設置について研究・協議を行う。モデル校での試行を経て全校に設置し、活動を推進する。	モデル校における準備会開催3回×2校、規約の策定	調査、研究、検討(4回) モデル校における試行(3校)	準備会開催(4回×5校) 学校間の連携方法の検討	準備会開催(4回×4校) 学校間の連携方法の検討 学校間の連携試行 コミュニティスクール推進(12校)	3,323千円
小中一貫教育推進事業 【継続】 <u>学校教育課</u>	キャリア教育を軸とした義務教育9年間の系統立てた学びの実現に向けて、牧之原市に合った小中一貫教育の計画をし、分離型小中一貫校を推進する。再編時期の4年前からは新たな小中一貫校に向けて調整・検討を行う。	検討組織立ち上げ調査、研究、検討(3回)	調査、研究、検討、方針作成(5回) 子どもの学びと育ちをつなぐ小中連携事業(2校)	分離型小中一貫校について学校ごと検討・試行(対象12校) 継続(5校)	分離型小中一貫校試行・推進(対象12校) 継続(5校)	382千円
特別支援教育推進事業 【継続】 <u>学校教育課</u>	特別な支援を要する児童生徒への対応について指導・助言を行い、特別支援教育体制の充実を図るため、専門的知識・経験を有する巡回学習相談員や特別支援教育アドバイザーを派遣。	巡回学習相談(全48回) 特別支援学級巡回相談(24回) 新就学児巡回相談(20回) 新就学児検査(5回) 延べ350人支援	継続	継続	継続	1,139千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
適応指導教室推進事業 【継続】 学校教育課	教育相談及び不登校児童生徒の学習や学校復帰、社会的自立を支援するため、適応指導教室「フルール」を設置し、児童生徒や保護者を対象に相談やカウンセリングによる支援を実施。	教育相談員4名による不登校児童、生徒支援や相談活動	継続	継続	継続	539 千円
言語指導事業 【継続】 学校教育課	構音障害などを抱える幼児の適切な教育支援のため、指導員を配置し、発音訓練や言語指導を実施。	言語指導員3名による発音訓練、言語指導	継続	継続	継続	147 千円
外国人児童生徒教育支援事業 【継続】 学校教育課	日本語での会話や読み書き等が不十分な児童生徒に対し、学習への適応指導を図るため、日本語支援及び保護者との相談活動等を実施。	バイリンガル相談員4名による日本語支援及び保護者との相談活動	バイリンガル相談員5名による日本語支援及び保護者との相談活動	継続	継続	0 千円 ※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上
スクールソーシャルワーカー配置事業 【継続】 学校教育課	不登校や問題行動等の課題を解決するため、スクール・ソーシャル・ワーカー(社会福祉士)を配置し、家庭や地域との連携を支援。	ケース会議の開催など(学校等訪問 250回、支援児童・生徒 450人)	継続	継続	継続	900 千円
児童放課後学習支援事業 【継続】 学校教育課	学習内容の定着が十分でない児童に対して、基礎的な内容を身に付けさせる学習の場を提供するため、放課後の時間を活用し、学習支援や学習相談を実施。	放課後を活用した学習支援学習相談を実施	継続	継続	継続	934 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
学校施設改修事業 【継続】 教育総務課	学校の教育環境の改善を図るため、屋上防水、外壁クラック補修及び塗装、内装工事等、計画的な改修を実施	川小校舎C棟の改修(老朽)工事、川小(A・B棟)、細小の改修(老朽)実施設計	細小校舎改修(老朽)工事	川小(A・B棟) プール補修実施設計(坂小、相中)	プール補修工事(坂小、相中)	83,100千円
小学校空調設備整備事業 【完了】 教育総務課	学校教育環境の改善を図るため、普通教室に空調設備を設置する(6校85教室)	空調設置工事 相小20台、菅小7台、萩小8台、地小11台、川小21台、細小18台	—	—	—	—
学校再編事業 【継続】 教育総務課	小中連携教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、小中学校再編計画を策定する。学校再編計画に基づき学校整備基本構想を策定する。	検討組織の立ち上げ及び協議・研究	協議・研究及び再編計画策定	再編計画の内容により決定する	継続	1,809千円
児童生徒用机椅子整備事業 【継続】 学校教育課	児童生徒の学習環境の向上を図るため、経年劣化した児童生徒用の机と椅子を計画的に更新。	机、椅子の購入、廃棄(小2)	机、椅子の購入、廃棄(小1)	—	—	7,372千円
就学事務システム導入事業 【継続】 学校教育課 教育総務課	住基と連動した就学事務システムを導入し、児童生徒の個人情報保護、事務の合理化を実現する。	就学事務システムの導入検討	継続	就学事務システムの運用	継続	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
校務電算業 務管理事業 【新規】 学校教育課	校務支援システム、 センターサーバを活用し、様々な書式の 利活用や生徒指導及 び成績に関する情報 を職員が共有、集積、 蓄積していく。	—	教員用 PC、校務 支援シス テム、セ ンターサ ーバー使 用 庁舎間ネ ットワー ク回線使 用	継続	継続	30,332 千円

1 方向性

(1) 社会教育活動の実施

- ・市民のライフスタイルやライフステージに応じた多様な学習機会の提供、地域での活躍の場の創出などを通じて、地域教育力を高めます。
- ・若者の自分磨き、地域による家庭教育力の向上の支援、学力向上と放課後の居場所づくりのための学習スペースの確保、高齢者の生きがいづくりなどの交流・学習の場の創出を支援します。

(2) 図書館機能の充実

- ・図書のインターネットでの所蔵検索や県内図書館の横断検索を可能とするなど、図書館の利便性の向上を図るとともに、他の図書館との連携強化を図ります。
- ・既存の図書館と交流の場等との複合化を図り、図書館機能を充実します。

(3) 芸術文化の体験

- ・芸術文化に誰もが気軽に参加し、触れ合い、体験できる機会をつくります。

(4) 地域の歴史の継承

- ・地域の文化財を包括的に調査、活用することにより、郷土の歴史への関心と理解を深めるとともに、史料の展示公開を通じて地域を学ぶ機会を創出します。
- ・地域の歴史や偉人の功績を顕彰し、市民の郷土愛を育みます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
こども体験事業への参加者数	2,643人	2,900
市文化祭の参加者数	4,796人	6,300人
史料館の利用者数	13,879人	18,000人
図書館の機能充実や図書館整備に関する取組に対する市民満足度	31.0%	48.5%
生涯学習やサークル活動への参加機会の提供に対する市民満足度	58.4%	67.5%
家庭や地域での子どもたちへの教育力向上の取組に対する市民満足度	47.0%	59.5%
文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組に対する市民満足度	40.5%	53.3%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
青少年健全 育成事業 【継続】 社会教育課	心豊かでたくましい青少年の育成及びリーダーの養成を図るとともに、青少年の非行を防止し、子どもたちを犯罪から守るため、青少年健全育成事業を実施。	各種団体と連携、協力して補導活動や商店立入調査などを実施	継続	継続	継続	2,186 千円
地域学習推 進事業（公 民館） 【継続】 社会教育課	自ら生涯にわたり学習するために年齢層に応じた講座・教室を開催し、社会参加を推進。また、地域と行政が融合した社会創造のために、青少年を育む地域活動や生涯学習のための活動。市民の連帯感や地域力向上推進。	ライフステージに応じ、地域教育力の向上を図る生涯学習事業の実施	継続	継続	継続	145 千円
市民学習推 進事業 【継続】 社会教育課	豊かな生涯学習社会の形成を推進するため、市民が生きがいとなる様々な学習をしたり、成果を発表したりする場を提供。	はりはら塾、田沼塾による学習成果の発表会を開催（各1回）	継続	継続	継続	7,015 千円
学校支援地 域本部事業 【継続】 社会教育課	学校と地域との連携構築を図り、地域の教育力向上、児童・生徒の学力向上のため、学校支援コーディネーターを配置。	学校支援コーディネーターを配置	継続	継続	運営方式未定	2,198 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
子ども体験 プログラム 推進事業 【継続】 社会教育課	創造力育成のため、地域の指導者とのふれあいにより、家庭や学校生活ではできない自然体験などの活動の場を提供。	自然体験、英会話など体験活動の場を提供	自然体験など体験活動の場を提供	継続	継続	840 千円
こどもがつくるまち事業 【継続】 社会教育課	子どもが主体となり、子どもならではの発想でつくる夢のまち「KIDS TOWN ぼくらのまちのはら」に市内小中学生が参加し、働く、収入を得る、消費するという、一連の社会の仕組みを遊びを通じて学ぶ。	「まきのはらキッズ夢サポーター」主体による「KIDS TOWN ぼくらのまちのはら」の実施	継続	継続	継続	1,300 千円
相良図書館管理運営事業 【継続】 社会教育課	子どもたちが本を通して愛情や情緒を育むため、読み聞かせ会の開催や読書ボランティアの育成を行う。また、効果的かつ機能が充実した図書館サービスを提供するための検討、取組を実施。	図書館サービスの充実、読書推進活動の実施	継続	継続	継続	13,957 千円
榛原図書館管理運営事業 【継続】 社会教育課	子どもたちが本を通して愛情や情緒を育むため、読み聞かせ会の開催や読書ボランティアの育成を行う。また、効果的かつ機能が充実した図書館サービスを提供するための検討、取組を実施。	図書館サービスの充実、読書推進活動の実施	継続	継続	継続	7,660 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
移動図書館管理運営事業 【継続】 社会教育課	市の図書館から遠隔地の市民に読書の普及を図るため、移動図書館車を運行して図書の貸出を実施。	移動図書館による読書推進活動の実施	継続	継続	継続	2,308千円
図書館機能拡充事業 【新規】 社会教育課	相良、榛原図書館の機能拡充に係る費用及び図書館オンラインシステムの構築と県内図書館横断検索システムへの加入。	図書館オンラインシステムの導入検討	図書館オンラインシステム導入 相良図書館の拡充工事 榛原図書館の拡充に向けた検討	図書館オンラインシステム継続 相良図書館システム更新 榛原図書館の拡充工事設計	図書館オンラインシステム継続 相良、榛原図書館システム更新 榛原図書館の拡充工事	28,550千円
図書館機能拡充事業 【新規】 社会教育課	民間所有の商業施設の一部を賃貸借して、相良図書館を整備する。	—	主に内装工事や電気設備工事、照明設備工事等を施行	—	—	※繰越し 176,000千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
文化振興事業 【継続】 社会教育課	文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、文化振興活動や文化振興に係る事業を支援。	市民の自主的な文化振興事業へ補助金を交付	継続	継続	継続	706 千円
市内遺跡発掘調査事業 【継続】 社会教育課	地域の歴史文化を守り、ふるさと意識を育て、多世代にわたる地域学習力の向上を図るため、開発行為に伴う発掘調査等を実施。	市遺跡の整理作業（男神前田）及び西ノ谷古墳発掘調査	市内遺跡の現地調査、整理作業の実施（西ノ谷古墳、宮下遺跡資料整理）	市内遺跡の現地調査、整理作業の実施（宮下遺跡資料整理）	市内遺跡の現地調査、整理作業の実施	1,462 千円
指定文化財修復保存事業費助成事業 【継続】 社会教育課	郷土の貴重な財産である文化財を継承し、愛護する心を育てるため、指定文化財の所有者に対して、保存修復にかかる費用を補助。	文化財所有者、民俗芸能団体へ補助金を交付	継続	継続	継続	683 千円
（田沼意次侯生誕300年記念）田沼意次侯顕彰事業 【完了】 社会教育課	生誕300年を契機として、市の偉人である田沼意次侯に関する歴史や文化に触れ、その優れた政治手腕を再認識することで、市民の見識を高めるとともにその功績を顕彰。	田沼意次侯顕彰事業費、相良城跡発掘調査・活用事業	—	—	—	—

1 方向性

(1) 儲かる農業の実現に向けた支援

- ・消費者ニーズに沿った売れる農産物の生産を支援し、持続性の高い儲かる農業を実現します。
- ・静岡県や関係機関と連携し、茶と他の作物との複合化などの経営安定のために必要な情報提供や指導を行います。
- ・JAや茶商などの関係者と連携し、茶の輸出に係る生産者の取組を支援します。

(2) 作業の効率化、省力化の支援

- ・意欲ある担い手が効率的な農業ができるよう基盤整備や土地改良施設の整備などを行い、ほ場環境の向上に努めます。
- ・安定生産と省力化、効率化を図るため、管理耕作機械の導入や施設整備等を支援します。
- ・担い手への農地の集積を図るため、農地の利用調整などの各種支援を行います。

(3) 販路拡大の支援

- ・多様なイベント等を利用し、国内外に和食文化や牧之原市の魅力と併せて、茶をはじめとする市内農水産物の魅力を情報発信します。

(4) 水産業の振興

- ・水産業については、引き続き磯焼け対策やヒラメ、マダイの稚魚の放流により、漁獲量の確保を図ります。

(5) 鳥獣被害への対策

- ・増加するイノシシなどの被害に対応するため、実施体制を強化するとともに、地域と連携して、捕獲、関係者による勉強会、農地への進入防止などの多面的な対応を進めます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
農業生産法人化数	28 件	30 件
年間新規就農者数	0 人	5 件
サガラメなどの繁殖する藻場を復元した面積数	167ha	200ha
農業、漁業の担い手への支援の取組に対する市民満足度	27.0%	44.6%
特産品の消費推進の取組に対する市民満足度	35.0%	46.6%
耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組に対する市民満足度	15.4%	34.4%
茶業安定の取組に対する市民満足度	27.5%	47.1%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
農業経営改善資金事業 【継続】 農林水産課	農業経営の安定化のため、農業者に対し、農地の取得、農業機械などを含めた施設整備や自然災害のために借り入れた資金の利子を補給。	借入者に対する利子助成(15件)	借入者に対する利子助成(7件)	継続	継続	61千円
認定農業者等育成支援事業 【継続】 農林水産課	農業経営の充実と安定を図り、市の農業発展に寄与するため、農業の活性化を目指し活動している認定農業者協議会に対して支援。	認定農業者協議会に対する補助金(全国農業担い手サミット静岡大会)	認定農業者協議会に対する補助金	継続	継続	2,027千円
農業次世代人材投資事業 【継続】 農林水産課	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付。	資金の交付(9件)	資金の交付(5件)	継続	継続	7,500千円
ビジネス経営体育成支援事業 【継続】 農林水産課	農業経営の多角化に伴う6次産業化、ビジネス経営体の育成支援のため、加工・流通・販売分野の情報提供や相談・指導を実施。	ビジネス経営体育成支援のための情報提供、相談・指導	継続	継続	継続	0千円
静岡県食肉センター再編整備事業 【継続】 農林水産課	老朽化が進む県内2か所(小笠、浜松)の食肉センターを小笠食肉センターに集約化を図るための整備を行う。	食肉センター再編整備についての検討	継続	継続	継続	0千円
茶複合経営推進事業 【継続】 お茶振興課	茶園からの転作により、「お茶+α」の複合経営を推進するため、土壌改良や種苗など転作経費を助成し転作に取り組む農業者を支援。	転作支援補助金(100a)(100千円/10a)	継続	継続	継続	1,000千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
機構集積協力金交付事業 【継続】 農林水産課	担い手への農地の集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化に対する協力金を交付。	農地の集積・集約化に対する協力金の交付 (6.3 ha)	継続 (26.4ha)	継続 (10ha)	継続	5,808 千円
荒廃農地等利活用推進事業 【継続】 農林水産課	食料自給率を向上させるため、荒廃農地の再生・利用を図り、農業生産の基盤である農地の確保及び有効活用を推進。	荒廃農地再生 (1.0ha)	継続	継続	継続	2,000 千円
中山間地域直接支払事業 【継続】 農林水産課	国土保全、水資源の涵養、良好な景観保全形成など、農業の持つ多面的機能を発揮させるため、農業生産条件が不利な傾斜地における荒廃農地を抑制。	集落協定 (14集落) 協定面積 (47.6ha)	集落協定 (12集落) 協定面積 (35.0ha)	継続	継続	3,261 千円
多面的機能支払交付金事業 【継続】 お茶振興課	農地、水、環境の保全及び質的向上を図るため、地域ぐるみで行う効果的な共同活動や環境を重視した営農活動への支援を行うとともに、農業施設の改修や更新など施設の長寿命化を支援。	活動組織 8組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原	活動組織 9組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原×2、片浜原	活動組織 10組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原×3、片浜原	継続	29,624 千円
(県営) 経営体育成樹園地再編整備事業 【完了】 お茶振興課	お茶やミカンなどの産地強化を図るため、意欲ある担い手(認定農業者)の経営する樹園地に灌水施設や基盤整備等を県営事業で実施。	榛原地区 スプリングラー (A=2ha) 相良地区 区画整理 A=0.5ha	—	—	—	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
(団体営) 農業基盤整備促進事業 【継続】 お茶振興課	安定的な生産と農作業の省力化、効率化を図るため、水田及び茶園の基盤整備事業による農地集積を推進する。	男神 10.6ha 確定測量及び換地処分	坂井平田 地区防霜 ファン設置工事 16.5ha	—	—	43,000千円
(県営) 経営体育成基盤整備事業 【継続】 お茶振興課	県営事業にて老朽化した取水施設の堰改良工事や水田の畑地化を目的とした暗渠排水や排水路の整備、茶園集積を目的とした区画整理工事を実施する。	【勝俣地区】 西川用水堰改良工事 【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=7ha) 排水路整備 (L=250m) 【静波原地区】 茶園区画整理設計	【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=13ha) 排水路整備 (L=450m) 【静波原地区】 茶園区画整理工事 A=3.2ha 【朝生原地区】 茶園区画整理設計	【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=13ha) 排水路整備 (L=450m) 【静波原地区】 茶園区画整理工事 A=3.2ha 【朝生原】 茶園区画整理工事 (A=5ha) 【須々木原地区】 茶園区画整理設計	【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=13ha) 排水路整備 (L=450m) 【静波原地区】 茶園区画整理換地処分 【朝生原】 茶園区画整理工事 (A=5ha) 【須々木原地区】 茶園区画整理工事 (A=5ha)	19,650千円
(県営) 農道保全対策事業 【継続】 お茶振興課	広域農道の通行車両の安全を確保するため、老朽化した擁壁や舗装の改良工事を県営事業で実施。	対策工事 榛南2期 舗装補修 (L=100m) 擁壁補修 N=1箇所	対策工事 榛南2期 擁壁補修 N=1箇所 変更設計 榛南2期	対策工事 榛南2期	継続	7,200千円
(県営) 担い手育成基盤整備事業 【継続】 お茶振興課	樹園地の幹線農道の幅員が狭く、農作業の効率が悪いいため、農道の拡幅改良工事を県営事業で実施。	拡幅工事 (L=200m)	継続	継続	継続	22,254千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
人・農地プラン実質化推進事業 【継続】 農林水産課	作成した人・農地プランを法律改正により地区でのアンケート、アンケートに基づく話し合いを行い中心経営体への農地の集約化に関する将来の方針を作成する「人・農地プラン実質化」を実施。	地域での農地に関するアンケート調査・アンケートに基づく話し合いを行い将来方針を決定し人・農地プラン実質化を推進 (1 地区)	地域での農地に関するアンケート調査・アンケートに基づく話し合いを行い将来方針を決定し人・農地プラン実質化を推進 (2 地区)	継続	継続	0 千円
茶園集積推進事業 【継続】 お茶振興課	茶園の集積を進め、茶業経営の効率化を図るため、農地中間管理機構を通じて借り受けた茶園の茶樹改良等の経費を補助し、茶園集積に取り組む農業者を支援する。 (県・市協調補助)	補助対象面積 1,200a 補助金額 6,000 千円 (50 千円/10a)	補助対象面積 1,000a 補助金額 5,000 千円 (50 千円/10a)	継続	継続	5,000 千円
経営体質強化支援事業 【継続】 お茶振興課	低コスト生産を実現し、共同茶工場等の経営体質強化を図るため、共同管理体制に伴う乗用型管理機の導入支援及び緑茶海外輸出、転作などについて情報提供・相談・指導を実施。	乗用型管理機械の導入支援 (5 台) リース導入 (8 台) 農業者への情報提供、相談、指導	継続	継続	継続	1,500 千円
荒茶加工施設等整備事業 【継続】 お茶振興課	市の基幹作物である茶の振興を図るため、茶農家及び茶業関係者に対して、荒茶加工機の整備費を補助。	—	荒茶加工施設等の整備に対する支援 冷蔵施設付建物一式 荒茶加工施設一式 荒茶加工機械一式	荒茶加工施設整備に対する支援 (事業要望、採択があった場合に実施)	継続	678,590 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
森林環境譲 与税事業 【継続】 農林水産課	森林環境譲与税を 活用して、森林整 備の促進を図る。	災害未然 防止や育 成のため の保安林 伐採、民 間森林活 動団体へ の支援、 森林環境 教育への 支援、県 産材活用 等(基金)	継続	継続	継続	2,301千円
消費・安全 対策事業 【継続】 農林水産課	農業者が行う科学的知見に基づく適切なリスク管理や伝染性疾病・病害虫の発生予防、まん延防止による食料の安定供給体制整備等の取り組みに対して助成する。	ハイナン 農協いち ご委員会 会員3名 が、紫外 線(UV-B) を照射し て物理的 防除の取 組を行う	継続	—	—	1,356千円
静岡牧之原 茶PR推進 事業 【継続】 お茶振興課	静岡牧之原茶のブ ランド化と消費推 進を図るため、茶 業関係者や茶業振 興協議会などの取 組を支援。	イベント開 催、展示 会出展、 関係協議 会等への 補助金等 全国茶ま つり出展 品評会出 品支援、 献上茶謹 製事業な どによる 静岡牧之 原茶のPR 茶沼意次 ホントカ ト	イベント開 催、展示 会出展、 関係協議 会等への 補助金等 品評会出 品支援、 献上茶謹 製事業な どによる 静岡牧之 原茶のPR	イベント開 催、大規 模展示 会、関係 協議会等 への補助 金等及び 品評会出 品支援な どの静岡 牧之原茶 のPR	イベント開 催、大規 模展示会 出展、関 係協議会 等への補 助金等 全国茶ま つり出展 品評会出 品支援な どの静岡 牧之原茶 のPR展	7,055千円
つくり育て る漁業の推 進事業 【継続】 農林水産課	漁業振興により地 域産業の活力を向 上させるため、マ ダイやヒラメの放 流や磯焼け対策事 業(サガラメ、カ ジメ藻場再生)を 関係団体と連携し 実施。	各種漁業 振興協議 会への活 動負担金 (5件)	継続	継続	継続	2,226千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
水産物を活用した産業 活性化事業 【継続】 農林水産課	静岡市、焼津市、吉田町、牧之原市、御前崎市が連携し、水産物等を活用した新商品、メニュー、観光コースを開発。また、地域資源のブランド力を高め、中駿河湾の水産業や水産物の加工、流通、小売り、飲食、観光などの産業を活性化。	商品・メニュー等のPR、各事業部会での検討（予算は静岡市と御前崎市が負担）	継続	継続	継続	2千円
鳥獣被害防止対策事業 【継続】 農林水産課	牧之原市鳥獣被害防止対策協議会への補助金等を通じ、有害鳥獣駆除で使用する装備品の整備や猟友会の有害鳥獣駆除の活動を支援。	猟友会や鳥獣被害防止対策協議会、防護柵設置農家に対する支援	継続	継続	継続	8,161千円
水産振興事業 【新規】 農林水産課	漁業者による漁業施設や設備の更新に係る融資に対する助成。	—	漁業者の近代化資金等融資に対する利子補給	継続	継続	68千円

1 方向性

(1) 産業用地の確保

- ・東名高速道路相良牧之原 I C 北側への産業用地の確保を支援します。
- ・企業進出などのニーズに対応するため、交通インフラの利便性が高く、安全安心な操業環境が確保できる場所に産業用地を創出します。
- ・空き施設や遊休地の情報を収集、発信し、企業誘致を進めます。

(2) 企業誘致の推進

- ・牧之原市の立地環境や産業特性を活かし、成長が見込まれる分野などの企業を誘致することで、経済情勢の変化に強い産業構造をつくとともに、多様な働き場の確保による雇用環境の充実を図ります。
- ・企業立地及び移転に係る優遇制度により、新規の企業誘致と市内企業の流出防止を図ります。

(3) 雇用の確保

- ・市内企業の情報を市内外に発信し、若者の雇用を支援するとともに、企業が求める人材の確保に努めます。
- ・産業雇用支援ネットワークにより、関係機関間による情報の共有化と積極的な発信を行うことで、市内外の多様な人材との雇用のマッチングを進めます。
- ・雇用情勢の変化や ICT などの科学技術の進歩に対応し、将来の市民の暮らしを支える多種多様な働き方を実現するための環境づくりを進めます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
年間新規雇用者数	729 人	850 人
起業者支援、産業雇用支援の取組に対する市民満足度	27.8%	45.8%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
東名相良牧之原IC北側開発事業 【継続】 新拠点整備室	相良牧之原IC北側の複合的な用途による開発を行うため、土地地区画整理準備組合の運営、事業認可取得及び組合設立等を支援し、土地地区画整理事業を通じた新たな拠点、賑わいの場の創出を図る。	土地地区画整理準備組合支援、土地地区画整理事業関係調査委託	土地地区画整理準備組合支援、土地地区画整理事業助成金、土地地区画整理事業関係調査委託	土地地区画整理組合支援、土地地区画整理事業助成金、道路等測量設計負担金、公共施設用地取得、物件補償	土地地区画整理組合支援、土地地区画整理事業助成金、道路等改良工事負担金、公園整備測量設計	213,313千円
企業立地促進事業 【継続】 企業立地推進課	地域産業の振興及び就業の場の確保を図るため市内に工場等を新設する企業等に対し補助金を交付	工場等を立地する企業への補助	継続	継続	継続	180,600千円
住宅建設資金利子補給事業 【継続】 商工振興課	勤労者の住宅建築・取得を促進し、市内への定住人口の増加を図るため、市内に住宅を求める勤労者に対して、住宅資金の利子を補給。	住宅資金の利子を補給（新規申請15件）	継続	継続	継続	3,200千円
立地工場等事業継続強化事業 【継続】 企業立地推進課	市内企業が継続して市内で事業を営めるようにするため、事業継続計画に基づいて、津波浸水区域から移転する企業に対して、用地取得費の一部を補助。	事業継続を図るため、BCPに基づき市内に工場を立地する企業に対する補助	—	継続	継続	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
技術労働育成 支援事業 【継続】 商工振興課	高齢者の経験等を活かした就業機会の創出に取り組んでいる団体及び建築技能者の育成と木造建築技術の伝承を行う団体の安定的な運営を図るため、補助金を交付。	シルバー人材センターへの補助 榛南建築高等職業訓練校への補助	継続	継続	継続	13,055 千円
雇用環境整備 支援事業 【継続】 商工振興課	勤労者の福利厚生の実施や雇用環境整備を進める団体の安定的な運営を図るため、補助金を交付。	榛南地区勤労者共済会への補助 榛南地区勤労者福祉協議会への補助	継続	継続	継続	4,716 千円
産業雇用支援 ネットワーク事業 【継続】 商工振興課	企業と就職希望者とのマッチングを推進し、雇用環境の充実を図るため、新卒者以外の就職希望者も含め、企業情報の発信やセミナー等を開催。	産業雇用支援ネットワーク会議、企業現地見学会、若者就労支援相談会の開催	継続	継続	継続	155 千円
萩間地区工業 用地造成事業 【新規】 企業立地推進課	萩間地区における工業用地の大規模開発に向け、必要な各種事前調査をはじめ、基本計画及び基本設計を策定。	開発可能性基本調査を実施	開発可能性詳細調査（基本計画・基本設計の作成）	継続	継続	60,000 千円

1 方向性

(1) 中小企業の振興

- ・中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき、中小企業・小規模企業振興計画を策定し、事業者の創業や育成、承継の支援等による事業振興を行います。
- ・中小企業者が行う、国内外への販路拡大に係る取組を支援します。

(2) 関係機関との連携の強化

- ・国、県の協力のもと、事業者、市、商工会、金融機関、その他の関係機関が連携し、情報を共有化するとともに、総合的な支援体制の構築し、施策の推進を図ります。

(3) 商業の振興

- ・市内商業の活性化のため、商工会等と連携し、空き店舗の活用、地域密着型事業などを支援します。
- ・市民生活の変化や市民ニーズの多様化に対応するため、事業者の創意工夫による取組や魅力ある店舗づくりを支援します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
市の産業は活力があると思う人の割合	12.9%	31.3%
年間起業数	51件	45件
年間商品販売額（小売）	554億円	560億円
商工業の振興の取組に対する市民満足度	30.7%	47.0%
商店街の魅力向上の取組に対する市民満足度	24.4%	38.5%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
企業成長戦略推進事業 【継続】 商工振興課	中小企業の成長支援のため、中小企業がもう一步踏み出すための経費を補助。	商品開発、農商工連携事業、販路開拓等への補助	継続	継続	継続	2,100千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
事業資金支 援事業 【継続】 商工振興課	中小企業の資金調達を円滑にし、経営の安定と合理化を図るため、制度資金等を借り受けた中小企業者に対して利子や信用保証料を補給。	短期経営改善資金、小口資金の利子・保証料の補給	継続	継続	継続	963 千円
がんばる中 小企業応援 事業 【継続】 商工振興課	中小企業者等の経営課題等に対し、解決までの筋道を提示できる牧之原市ビジネスサポートデスク（まきサポ）を設置し、経営改善、創業などの相談を受ける。併せてセミナー等を開催し、中小企業等の振興を図る。	中小企業・小規模企業及び起業、創業希望者に対する相談業務実施（96件）	継続	継続	継続	1,901 千円
ふるさと納 税推進事業 【継続】 商工振興課	ふるさと納税の推進と市内産業の活性化を目的に、10,000円以上のふるさと納税（寄附）をした方に、地元特産品等を記念品として進呈。	ふるさと納税推進記念品の贈呈 記念品の発掘	継続	継続	継続	87,831 千円
企業海外展 開支援事業 【完了】 商工企業課	静岡県中部5市2町の優良な商品や製品の越境EC等を活用した中国への販路拡大や、中国が必要とする商品や製品の共同開発、業務提携による生産拡大など地域経済の発展と雇用の拡大を図る。	中国での展示会出展、越境EC等を活用した販路拡大、業務提携による生産拡大を図る	—	—	—	—
商工会支援 事業 【継続】 商工振興課	商工業の振興と健全な経営を図るため、商工業者への指導や支援を行う商工会を支援。	商工業者へ指導、支援（商工会への補助）	継続	継続	継続	28,500 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
商工業振興 資金利子補 給事業 【継続】 商工振興課	商工業者の健全な経営を支援するため、事業資金を借り受けた中小企業者に対して利子の一部を補助。	設備投資に対する利子補給(借入件数89件)	継続	継続	継続	2,178千円
商工業振興 支援事業 【継続】 商工振興課	市内商業の活性化を図るため、商業団体等が実施するにぎわい創出に繋がるイベント開催や商店の魅力発信などの事業を支援する。 また、新たな事業の創出を促進し産業の振興を図るため、市内で起業する者に対して支援を行う。	市内にぎわい創出イベント事業等への補助(6件) 市内起業に対しての補助(2件)	継続	継続	継続	3,670千円
地域産業活 性化事業 【継続】 商工振興課	市内で製造されている工業製品、農産物等を広く紹介し、商工業の振興を図るとともに、市民融和を深めるため、産業フェアを開催。	(田沼意次候生誕300年記念事業「御城下まつり」の実施)	産業フェアの実施	継続	継続	3,000千円
新型コロナ ウイルス感 染症対策利 子補給金交 付事業 【新規】 商工振興課	新型コロナウイルス感染症により、業績悪化している市内中小企業者等を支援するため、県制度資金に係る償還利子の一部へ補給金を交付する。	—	償還利子の一部を補給する	継続	—	12,000千円

1 方向性

(1) 観光地づくり

- ・魅力ある着地型の観光地づくりを進めます。
- ・市民、関係する事業者や団体の連携体制を強化し、一体的に取り組みます。
- ・地域連携DMO公益財団法人するが企画観光局と連携し、広域での観光を進めます。
- ・富士山静岡空港、御前崎港、高速バス相良渋谷線などを利用し、海外や首都圏からの観光客を誘致します。

(2) 多様な海岸利用の促進

- ・静波海岸、さがらサンビーチの海水浴場を運営します。
- ・マリンスポーツやマリンレジャーなど多様な形態による海岸利用を進め、年間を通じた海岸の利用促進を図ります。
- ・沿岸部の活性化に民間事業者と一体となって取り組みます。

(3) 東京五輪を契機とした交流人口の増加

- ・2020年東京五輪サーフィン競技のアメリカ、中国のホストタウン登録を契機に国内外からの交流人口の増加を図ります。
- ・インバウンドの受け入れに必要な施設の整備などを行います。

(4) 歴史文化を活用した観光

- ・市内の歴史文化資源を活用した観光を進めます。
- ・田沼意次侯生誕300年を契機に、田沼意次侯に対する市民の誇りを醸成するとともに、関連する歴史文化資源を活用した観光商品や魅力づくりに市民総がかりで取り組みます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
全国規模のマリンスポーツイベント数	1件	5件
観光誘客促進のための取組に対する市民満足度	25.0%	42.7%
各種イベントの開催に対する市民満足度	37.1%	50.3%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
観光イベント支援事業 【継続】 観光課	観光振興や誘客促進を図るため、観光事業を行う団体を支援。	観光振興事業負担金 ゴーセンカップ 牧之原市国際女子オープンテニストーナメント開催 サイクルイベント開催 沿岸部活性化事業	継続	継続	継続	700 千円
観光PR事業 【継続】 観光課	牧之原市をPRするため、フィルムコミッション事業により、取材やロケ地(映画・ドラマ・CM等)としての情報提供及び撮影支援を行い映像等を通して市の魅力を発信する。	フィルムコミッション組織支援、ロケ支援、情報提供	継続	継続	継続	563 千円
観光拠点ネットワーク化事業 【継続】 観光課	市内観光施設を適正かつ良好に維持管理するとともに、空港周辺市町をはじめとする広域的な観光誘客を促進。	観光ルートの開発 関係団体のネットワーク維持	継続	継続	継続	20,853 千円
温泉会館大規模改修事業 【継続】 観光課	さがら子生れ温泉会館の施設及び設備の老朽化が進んできているため、大規模改修を実施し施設の長寿命化を図る。	防排煙設備修繕	屋外軒天補修	館内 LED 化	継続	10,279 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
子生れの郷 周辺整備事業 【継続】 観光課	富士山静岡空港や子生れ温泉にも近い観光施設を適正かつ良好に維持管理し、周辺整備を行うことにより、観光誘客を促進する。	子生れ石 周辺整備 の検討	継続	継続	子生れ石 周辺整備	0 千円
御前崎港客 船誘致協議 会負担金 【継続】 観光課	御前崎港を活用して客船や帆船を誘致し、観光施設や商店街への集客を行い地域活性化を図るための負担金を交付。	帆船、国内 外客船誘 致	継続	継続	継続	6,000 千円
まきのはら 産業・地域活 性化センター 一事業 【継続】 観光課	平成 31 年度に設立する一般社団法人まきのはら産業・地域活性化センターの運営が円滑に行われるよう、人件費等の運営費について支援を行う。	法人の運営 支援	継続	継続	継続	41,573 千円
マリンレジ ャー推進事 業 【継続】 観光課	年間を通じた海岸の有効活用及び観光振興を図るため、全国レベルのマリンスポーツ大会やイベント事業の運営を支援。	サーフィン大会 中日本ライフセービング大会 サーフカーニバル大会の開催	サーフィン大会 ライフセービング大会 サーフカーニバル大会の開催 沿岸部イベント	継続	サーフィン大会 中日本ライフセービング大会 サーフカーニバル大会の開催 沿岸部イベント大会の開催	630 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
海水浴場開設・海岸整備事業 【継続】 観光課	海水浴客が安全安心に快適な時間を過ごすことができる環境を整えるため、海水浴場、駐車場の適正な管理・運営を行うとともに、ライフセービングハウス等の施設維持修繕・管理を行う。	静波海水浴場、さがらサンビーチの海水浴場の運営	継続	静波海水浴場、さがらサンビーチの海水浴場の運営 静波救助艇更新	静波海水浴場、さがらサンビーチの海水浴場の運営 相良救助艇更新	49,879 千円
観光施設整備事業 【継続】 観光課	2020 東京オリンピック・パラリンピックのサーフィン競技のホストタウンに登録されており事前合宿等が計画されていることから、必要な施設整備として静波海岸のトイレ等の整備を行う。	静波海岸トイレ新設	トイレ洋式化	トイレ洋式化 多言語標記看板設置	—	1,621 千円
(田沼意次侯生誕300年記念) 田沼意次侯生誕300年記念推進事業 【継続】 観光課	郷土の偉人である田沼意次侯の功績を顕彰するとともに、有用な地域資源として観光振興、地域活性化につなげるため、官民一体となって取り組むための体制を整備。	実行委員会委託事業 田沼意次侯の功績顕彰 地域資源として観光振興、地域活性化に繋がる事業を実施	継続	継続	継続	0 千円
(田沼意次侯生誕300年記念) デスティネーションキャンペーン事業 【継続】 観光課	平成31年春のJR6社によるデスティネーションキャンペーンの開催を契機として、田沼意次侯を冠したイベントを展開することにより、市への誘客を促進し、交流人口の拡大と地域経済への効果波及を図る。	ぶらり田沼の旅の実施	継続	—	—	405 千円

1 方向性

(1) インフラの計画的な維持修繕

- ・ 橋りょう、トンネル、舗装等の維持修繕は、財源確保と総コストを考慮した計画的な実施に努めます。
- ・ 損傷が軽微な段階で補修を行う予防保全型の維持管理を行い、施設の延命化と維持管理及び更新費用の縮減、事業費の平準化を図り、道路ネットワークの安全性を確保します。

(2) 道路の整備

- ・ 道路整備プログラムを必要に応じて見直し、計画的な整備を進めます。

(3) 河川の環境保全と浸水対策の実施

- ・ 適切な維持管理を行うとともに、地域の実情に沿って、計画的に事業を推進します。
- ・ 総合的な治水対策が必要な細江地区については、計画的に治水対策事業を進めます。

(4) 国、県との連携

- ・ 国や県の所管事業は、事業の早期実現と適切な施設管理を要望していきます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
整備中路線の完了率	32.4%	81.2%
浸水被害改善率	5.0%	67.2%
道路や河川の補修・整備に対する市民満足度	36.2%	52.2%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
道路ストック補修支援事業 【継続】 建設管理課	道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の橋りょう、舗装や法面など特に傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施。	計画に基づく維持修繕の実施	継続	継続	継続	462,538千円 ※繰越し 108,590千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
市道八ツ枝 毛ケ谷線改 良事業 【継続】 建設課	静岡空港と隣接した地域が調和ある発展を図っていくとともに、生活交通の利便性向上と安全を確保するため、市道八ツ枝毛ケ谷線の拡幅改良を実施。	道路改良 (L=150m) 取合測量 設計 (L=150m) 物件補償	道路改良 (L=150m) 物件補償	継続	継続	55,000 千円
市道坂部細 江線改良事 業 【継続】 建設課	静岡空港と隣接した地域が調和ある発展を図っていくとともに、生活交通の利便性向上と安全を確保するための市道坂部細江線の歩道設置改良を実施。	用地補償	道路改良 (L=480 m) 用地補償	—	—	202,600 千円
市道並木外 之久保線改 良事業 【継続】 建設課	静岡空港と隣接した地域が調和ある発展を図っていくとともに、生活交通の利便性向上と安全を確保するため、市道並木外之久保線の拡幅改良を実施。	追加測量 設計、用 地物件調 査、用地 補償	用地補償	道路改良 (L=850m) 物件補償 埋蔵文化 財調査	道路改良 (L=410m) 物件補償	6,000 千円
(市単独) 市道新設改 良事業 【継続】 建設課	道路整備プログラム(2018)に計画された前期事業(2022/5カ年)について、事業を推進する。	大江東中 線(測量 設計) 黒子静波 線(測量 設計)	大江東中 線(詳細 設計) 坂部1号 線用地補 償 黒子静波 線(測量 設計) 後川橋 (橋梁予 備設計)	新東中橋 (土質調 査・橋梁 設計)※ アロケー ション 負担金 1/2 大江東中 線(用地 調査、用 地補償) 黒子静波 線(調査 設計) 大倉三栗 線(道路 改良 L= 110m) 静波91 号線(道 路改良 L=50m)	道路整備 プログラム 修正更 新 新東中橋 (用地補 償・工事) ※アロケー ション負担 金 1/2 大江東中 線(用地 補償) 新後川橋 (土質調 査・橋梁 設計)※ アロケー ション負担 金 1/2 黒子静波 線(用地 調査)	9,500 千円 ※繰越し 18,100 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
浸水対策事業 【継続】 建設課	市内における道路冠水や宅地の浸水被害を軽減させるため、早期の事業効果が期待できる整備手法の調査検討及び工事を実施。	沢垂川 (測量・ 設計・調 査) 用地補償 朝生地区 放水路改 修 (L=50m)	樋門設計 物件調査 沢垂川河 川改修 (L=200m) 朝生地区 放水路改 修 (L=50m)	沢垂川河 川改修 (L=100m) 用地補償	沢垂川河 川改修 (L=100m) 放水路整 備 (L=50m) 排水機場 設計 用地補償	156,500 千円 ※繰越し 22,200 千円
相良牧之原 IC北側地域 の排水路等 整備事業 【継続】 建設課	相良牧之原IC北側地域の土地利用の促進と旧大井航空隊暗渠水路の廃止を目的として、代替機能となる排水路を整備するため、下流河川の改修を実施。	布引原 25号線 排水路改 修 (L=230m)	東萩間1 号線流末 排水路測 量設計 (L=460m)	東萩間1 号線流末 排水路改 修 (L=460m)	布引原 18号線 排水路測 量設計 (L=300m)	8,000 千円
海岸防潮堤 整備に伴う 排水対策事 業 【継続】 建設課	県が進める南海トラフ地震対策の海岸防潮堤整備に合わせて防潮堤背後地の排水対策を行うため河川改修を実施。	—	—	甚太郎川 改修 (L=130m)	西藤川 改修 (L=76m)	—
準用河川辻 川改修事業 【継続】 建設課	静岡空港と隣接した地域が調和ある発展を図っていくとともに、道路冠水や宅地の浸水被害を防ぐため、準用河川辻川の河川改修を実施。	河川改修 (L=130m)	河川改修 (L=100m) 補償	河川改修 (L=50m) 補償	—	40,000 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
県単独事業 負担金（県 道整備） 【継続】 建設管理課	地域間を結ぶ主要道 路（県道）網の整備 のため、県による道 路新設及び歩道設置 の改良工事を実施。	都市計画 道路静波 1号幹線 用地買収 (L=100 m)	榛原金谷 線負担金 (L=100m) 菊川榛原 線負担金 (L=100m) 都市計画 道路静波 1号幹線 工 事 (L=100m)	継続	継続	25, 875 千円
県営港湾整 備事業負担 金 【継続】 建設管理課	沿岸部の防災対策や 環境整備のため、県 による海岸施設の整 備及び港湾施設の改 良工事を実施。	御前崎港ト ンネル防災対 策(施設改 良) 御前崎港 湾道路施 設対策(舗 装補修等)	—	御前崎港 相良港内 臨港道路 施設対策 (舗装補修 等)	御前崎 港・相良港 内臨港道 路施設対 策(舗装補 修等)	—

1 方向性

(1) 水道事業の広域連携の推進

- ・ 給水人口や給水収入の将来の見通しを基に、静岡県などからの購入水量や購入料金の見直しについての協議を行います。
- ・ 関連する水道事業者との事務の共同発注など、広域連携を進め、経営の効率化、健全化に取り組みます。

(2) 配水管の改修更新の実施

- ・ 施設整備は、経営戦略、水道事業ビジョン、水道施設の更新計画を策定し、計画的かつ継続的に配水管の耐震化や改修更新を進めます。

(3) 安定した水道事業の運営

- ・ 水道事業のコストダウン、供給先や事業収入の確保に努め、安定した水道の供給を図ります。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
配水管の耐震化率	18.5%	22.0%
上水道施設整備の取組に対する市民満足度	47.7%	61.0%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
老朽配水管 等更新事業 (企業会計) 【継続】 水道課	配水管の耐震化推進のため、石綿管・老朽管等の配水管布設替工事を実施。	VP管更新 (4路線) HPE管新設 (2路線)	鉄管更新 (3路線)	鉄管更新 (13路線) VP管他更新 (10路線)	鉄管更新 (8路線) VP管他更新 (7路線)	152,886千円
施設更新事業 (企業会計) 【新規】 水道課	実使用年数に基づき、老朽化した施設から順次、更新。	—	17施設	2施設	—	28,000千円

1 方向性

(1) 都市計画の推進

- ・効率的な公共投資と施設の立地誘導を計画的に進めます。
- ・東名高速道路相良牧之原 I C 周辺の用途地域の指定などに取り組みます。
- ・自然環境の保全と美しい街並みの形成のため、景観計画を策定します。
- ・市全体の土地利用の適正化と合わせて若者が住みたいと思える宅地の確保を進めます。

(2) 公園の機能充実とあり方の見直し

- ・親子がゆっくり楽しめる公園づくりを進めます。
- ・計画的に施設の改修、長寿命化、ユニバーサルデザインを進めます。
- ・市民や地域が主体的に運営管理に関わることができる公園づくりを進めていきます。
- ・市全体における公園のあり方を見直し、適正配置を計画的に進めます。

(3) 花と緑あふれるまちづくりの推進

- ・癒しや安らぎにあふれ、交流の場となる空間を生み出すため、市民総参加で花と緑のまちづくりを進めます。

2 数値目標（令和 4 年度）

指 標	基準値※1	目標値
公園管理に協力してくれる公園愛護団体数	25 団体	30 団体
計画的な土地利用の推進に対する市民満足度	27.8%	47.6%
街並みや周辺の景観・美観への取組に対する市民満足度	33.4%	50.0%
公園・緑地の管理や整備の取組に対する市民満足度	30.6%	49.2%

※1 令和 2 年 3 月 31 日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
都市計画道路再検証事業 【継続】 都市計画課	都市計画道路における未改良区間整備方針について、社会情勢や市民ニーズ等を基にした将来見通しに照らし、再検証する。	庁内検討 県協議 都市計画 審議会の 開催	庁内検討 県協議 概略測量 設計 都市計画 審議会の 開催	庁内検討 県協議 市民説明 都市計画 審議会の 開催 都市計画 決定図書 作成等 都市計画 図面修正	継続	3,605 千円
立地適正化計画策定事業 【継続】 都市計画課	効率的な公共投資を行うためにコンパクトなまちづくりとして、居住機能、交通、医療、福祉施設、商業施設や公共施設等の立地誘導を図る立地適正化計画を策定する。	協議検討	継続	継続	素案修正 パブリック コメント、計画 策定、報 告書策定	600 千円
豊かな暮らし空間創生事業 【継続】 都市計画課	沿岸部の既存市街地において、防災・減災機能を備えた新たなライフスタイルを創生するため、空地进行を有効活用して良質な住宅地を造成。	除草作業 (2回) 道路用地 分筆	除草業務 (4回)	継続	継続	200 千円
景観計画策定事業 【継続】 都市計画課	景観まちづくりの基本理念、目標及び景観形成方針を設定する。	—	—	基礎資料 作成 庁内検討 会議 景観かち づくり会 議	景観計画 策定庁内 検討会議 景観まち づくり会 議 地区説明	—
都市計画用途地域指定事業(高台開発関連事業) 【継続】 都市計画課	東名相良牧之原IC北側の開発において予定されている土地区画整理事業において、用途地域の指定が必要となることから、用途地域指定に関する協議資料等の作成に関する事業を行う。	—	用途地域 変更、都 市計画決 定図書作 成 地区計画 検討資料 作成	—	—	4,499 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
公園整備事業 【継続】 都市計画課	地域に根ざした身近な公園緑地としての機能向上を図るため、周辺景観との調和や実情に配慮した整備、維持管理を実施。	波津公園トイレ改修工事 ふるさと体験の森駐車場設計委託、用地買収	ふるさと体験の森多目的広場造成工事	油田の里公園改修工事	小堤山遊具改修工事 小堤山園路改修工事 平成せせらぎ公園照明灯取り換え工事	53,000 千円
公園緑地管理事業 【継続】 都市計画課	地域に根ざした身近な公園緑地としての機能向上を図るため、周辺景観との調和や実情に配慮した整備、維持管理を実施。	公園緑地の維持管理(市内42箇所)	継続	継続	継続	42,018 千円
花と緑のまち推進事業 【継続】 都市計画課	地域の環境美化やゆとりの空間を創造するため、花づくり教室、講習会等の開催を通じて緑化意識を高め、花いっぱいのまちづくりを推進。	公共花壇管理団体へ原材料支給 田沼意次候生誕300年記念花飾り 緑化講習会の開催 花の会主催花育講座(育種寺子屋)	公共花壇管理団体へ原材料等の支給 緑化講習会の開催 花の会主催花育講座(育種寺子屋)	公共花壇管理団体へ原材料等の支給 緑化講習会の開催	公共花壇管理団体へ原材料等の支給 緑化講習会の開催	3,742 千円

1 方向性

(1) 総合的、計画的な推進

- ・地球温暖化防止、循環型社会、自然共生社会や地域循環共生圏の構築に総合的、計画的に取り組めます。

(2) 廃棄物の処理

- ・低炭素社会に向けた廃棄物処理システムの構築や資源循環利用促進のため、ごみの減量・資源化を図るとともに、自然共生社会に向け、環境マネジメントによる環境負荷の軽減と保全意識の向上を図ります。
- ・合併処理浄化槽の普及を促進します。
- ・廃棄物の不法投棄や悪臭の発生に対応するため、必要な規制の強化などを検討します。

(3) 広域での施設の運営

- ・関係市町と協議のうえ、ごみ処理施設、し尿処理施設及び火葬場の長期的な視点による更新、統廃合、長寿命化の計画を策定し、安全安心で効率的な施設運営を実現します。

(4) 再生可能エネルギーの導入促進

- ・再生可能エネルギーの導入促進などは、地域の理解を得たうえで、太陽光、太陽熱、風力、バイオマス資源等の利用を進め、二酸化炭素の削減、エネルギーの地産地消の仕組づくりを行います。

(5) 生態系の維持、水産資源の保持

- ・生態系の維持や水産資源の保持について、対策を進めるための協議会の設置などを検討し、必要な対策を実施していきます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
合併浄化槽の普及率	46.0%	48.6%
新エネルギーの導入率	114.1%	120%
エコアクション21認証（ISO14001）取得事業所数	57事業所	62事業所
生活環境対策などへの取組に対する市民満足度	58.0%	64.3%
公害防止対策への取組に対する市民満足度	49.1%	63.6%
風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組に対する市民満足度	43.3%	59.4%
自然環境の保全への取組に対する市民満足度	38.1%	55.1%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
環境基本計画推進事業 【継続】 環境課	廃棄物処理、循環型社会の形成、地球温暖化防止対策等、市が実施する環境施策を計画的、効率的に推進するため、生活環境及び自然環境を保全、創造する環境基本計画を運用するとともに、見直し等を実施。	環境審議会の開催各種計画の進捗管理	継続	継続	継続	328 千円
エコアクション21推進事業 【継続】 環境課	企業、学校、公共機関等の全ての事業者が環境への取り組みを効果的、効率的に行うため、環境への目標を持って行動し、評価する環境経営システムである「エコアクション21」を市役所が率先して推進するとともに、市内の事業所への普及、支援を実施。	市役所のエコアクション21の取組推進 更新認証取得事業者支援、普及啓発	継続	継続	継続	415 千円
資源集団回収奨励事業 【継続】 環境課	資源集団回収の奨励による、ごみの減量及び各種リサイクル活動の推進。	古紙等資源集団回収実施団体が回収した古紙等資源の1kgにつき2円の奨励金を交付	継続	継続	継続	1,230 千円
環境美化推進事業 【継続】 環境課	生活環境の保全に資するため、市内一斉清掃における防疫剤の配布及びごみ集積施設設置に対する支援。	ごみ集積施設事業（事業経費の1/2以内で5万円限度）地域一斉清掃等使用する防疫剤を配布	継続	継続	継続	811 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
不法投棄防 止対策事業 【継続】 環境課	ごみの不法投棄防止のための資材配布とパトロール実施による生活環境衛生の維持。	大江地内 廃冷蔵庫 断熱材の 現地監視、不法投棄常習地への防止対策等	継続	継続	継続	2,703 千円
火葬場検討 事業 【継続】 環境課	広域施設組合の火葬場の老朽化により、新施設整備を検討する。	先進地視 察等	施設整備 場所の検 討及び選 定方法等 の検討	継続	継続	—
ごみ処理施 設検討事業 【継続】 環境課	広域施設組合のごみ焼却施設の長寿命化に関する対応を検討する。	先進地視 察等	事業方式 事業主体 協議 基本構想 着手に伴 う調査	継続	継続	—
環境マネジ メント促進 事業 【継続】 環境課	家庭から排出される二酸化炭素の削減など、地球温暖化防止活動の普及啓発のため、環境教室や環境学習を開催。	環 境 教 室、環 境 学 習、環 境 フェア の 開 催	継続	継続	継続	371 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
資源・エネルギー利活用推進事業 【継続】 環境課	地球温暖化防止対策の観点から、エネルギーの地産地消により、地域産業の活性化、雇用の創出を図るため、太陽光・風力・バイオマス発電などの再生可能エネルギーの導入及びスマートコミュニティの形成などによる活用を検討。	太陽熱温水器導入補助金、再生可能エネルギーのポテンシャルの検討、再エネ設備導入による地域活性化対策の検討	継続	継続	継続	609 千円
合併浄化槽設置費助成事業 【継続】 環境課	循環型社会形成推進基本法に基づく地域計画の推進と、生活排水による公共河川等の水質汚濁を防ぎ、水質保全を図るため、合併浄化槽の普及を促進。	宅内配管工事費及び単独槽撤去費への補助を行う要綱改正を実施 浄化槽設置補助金の交付(218基)	継続	継続	継続	61,702 千円
環境保全調査事業 【継続】 環境課	地域の環境を守り、いち早く水質悪化に対応するため、定期的に河川や地下水、事業所等などの水質調査を実施。公害苦情への対応及び環境施策の基本資料とするため、各種環境調査を実施。	環境調査 自動車騒音常時監視 悪臭・水質・騒音等調査、 河川生息動物実態調査	継続	継続	継続	4,593 千円

1 方向性

(1) 地域交通網の充実

- ・都市計画マスタープランに基づいた都市拠点を結ぶ地域公共交通のネットワークや交通空白地域を面的にカバーするような交通網を構築し、効果的なサービスの提供による利用促進を図り、市民ニーズに合った公共交通を確保していきます。
- ・鉄道駅や隣接市街地へのアクセス機能を持つバス路線は、市民や市外からの来訪者にとって重要な移動手段であるため、関係市町や交通事業者と連携し、利便性の向上を図り、路線の維持に努めていきます。
- ・高齢者の移動手段の確保としては、運行を開始しているデマンド乗合タクシーの状況を把握し、利用しやすい環境を整え、他地域への導入を推進します。導入にあたっては、既存のバス路線を活かしつつ、タクシー事業者への影響を十分考慮し、公共交通全体として最適な形を検討します。

(2) 富士山静岡空港の利活用

- ・富士山静岡空港については、ターミナルビルの増改築や民営化に伴う空港活性化や利便性の向上が地域の活性化に結びつくよう運営権者や地域と連携しながら取り組みます。
- ・新幹線新駅については、県や関係市町と連携して設置の実現を目指します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
自主運行バス利用者数	16.8 万人	17.3 万人
空港を活用するための取組に対する市民満足度	46.6%	51.7%
公共交通の充実（バス交通など）の取組に対する市民満足度	22.6%	41.4%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
交通政策推進事業 【継続】 地域振興課	自主運行バスを含め、市民にとって利便性の高い公共交通形態を確立するため、公共交通に関する会議を運営。	地域公共交通会議の開催（3回）	継続	継続	継続	827 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
自主運行 バス運営 事業 【継続】 地域振興課	地域の需要に応じた 住民生活に必要な交 通手段の確保、その 他旅客の利便性向上 を図るため、民間事 業者へ委託し、市内 4路線の自主運行バ スを運行するととも に市営バス路線を運 行する。また、バス 事業者が運行する地 域間幹線系統への運 行補助を実施。	市営バス 路線民間 事業者へ の委託 (2路線) 他市への 運行負担 金 (2路線) 国庫補助 路線の協 調補助	継続	継続	継続	159,086 千円
デマンド 乗合タク シー運営 事業 【継続】 地域振興課	市内を運行するバス 路線を補完し、交通 弱者に対する移動 手段の確保のため に、デマンド型乗合 タクシーを運行。	デマンド 乗合タク シーの試 験運行の 実施 (4地区)	デマンド 乗合タク シーの試 験運行の 実施 (5地区) 本運行 (1地区)	継続 (6地区)	継続 (4地区)	3,825 千円
空港利用 推進事業 【継続】 地域振興課	富士山静岡空港の利 活用促進と新幹線新 駅設置に向けた取組 を推進するため、各 種イベントや協議会 への参加。	各種協議 会への負 担金 (5団体)	継続	継続	継続	1,662 千円

1 方向性

(1) 空き家対策の実施

- ・地域住民の生活環境に影響を及ぼす特定空き家については、所有者に適正管理を依頼、助言、指導し、保安対策を進めていきます。

(2) 空き家、空き地の有効活用

- ・空き家空き地バンクを活用した情報提供を行い、遊休化する住宅や土地の有効活用を支援します。

(3) 市営住宅の利用促進

- ・老朽化等により耐震能力に欠ける住宅は、入居者の調整を図り、施設の取り壊し等を進めていきます。
- ・耐震能力のある住宅は、入居要件を緩和し、幅広い世代層の利用を図ります。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
住宅地の整備や住宅に関する情報の発信	29.1%	49.5%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
特定空家対策推進事業 【継続】 都市計画課	地域の防災・環境面において、良好な環境を形成するため、荒廃した空家に対して必要な措置を講ずるなどの対策を推進。	特定空家等管理に係る相談及び助言	継続	継続	特定空家等管理に係る相談及び助言	281千円
空き家・空き地利活用推進事業 【継続】 都市計画課	市内の空き家・空き地を有効活用するために、市内の空き家・空き地を市のバンクへ登録し、市のHPなどを通し活用を希望する方へ情報を提供する。	空き家・空き地バンクの運用	継続	継続	継続	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
公営住宅等 ストック総合 改善事業 【継続】 建設管理課	市営住宅ストックの 長寿命化とライフサイ クルコストの縮減 を図るため、計画的 な施設の更新及び予 防保全的管理を実 施。	菅ヶ谷団 地1号棟 (排水管 等改修工 事) 菅ヶ谷団 地2号棟 (屋上防 水、外壁塗 装、排水管 等改修工 事)	菅ヶ谷団 地3号棟 (屋上防 水、外壁 塗装、排 水管等改 修工事) 湊団地 (屋上防 水、外壁 塗装等実 施設計) 長寿命化 計画の見 直し	湊団地 (屋上防 水、外壁 塗装、排 水管等改 修工事)	—	43,297 千円

1 方向性

(1) 自助、共助の体制の強化

- ・「防災は一人一人が主人公」との認識のもと、一人一人が自らの生命を守るための備えに必要な情報を発信するとともに、地域が共に助け合う体制を強化し、底上げするため、防災指導員の育成を図ります。

(2) 地震、津波災害への対策

- ・市民の避難訓練や防災訓練への参加促進、住宅の耐震化の支援、防災倉庫などの整備を支援するなど、地震津波への対応を計画的に進めます。

(3) 防潮堤などの整備

- ・国や県と連携して海岸 15 km のレベル1 防潮堤整備を進めるとともに、レベル2 の津波に対応した施設の整備を検討します。
- ・二級河川坂口谷川の水門整備の早期完成を国に要望します。

(4) 風水害への対策

- ・災害が深刻化する前に避難勧告等を発令できるよう、情報伝達体制を強化します。

(5) 原子力防災対策

- ・浜岡原子力発電所は、現在、国の指導により停止していますが、あらゆる原子力災害の想定に対し市民の安全性を高めるため、広域避難計画の策定、放射線防護対策施設の整備、避難路の整備などに取り組みます。
- ・広域避難計画は、今ある方針書を基に関係市町との協議を進め、実効性ある計画としての策定を進めます。
- ・原子力防災に関する正しい理解を促すため、市民に対する学習会などを開催します。

(6) 他市町や企業との連携

- ・県内外の市町村や企業等と災害協定を締結し、有事に備えた支援体制を構築します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※ 1	目標値
アクションプログラム 2013 に掲載した個別アクションの数値目標達成率	30.9%	80.0%
震災・火災・水害・浸水対策への取組に対する市民満足度	38.4%	55.0%
自主防災組織の強化のための取組に対する市民満足度	45.8%	60.6%
家具等の転倒防止などの防災対策への取組に対する市民満足度	35.8%	54.7%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
地域防災対策強化事業 【継続】 防災課	自主防災組織の強化、防災意識の高揚のため、防災講演会や出前講座、研修会などの開催及び防災関係補助金制度の実施。また、実災害に備え、食料等の適切な備蓄や情報伝達手段のひとつとなる同報無線等の維持・管理を実施。	自助・共助推進のための研修、訓練の実施「公助」のための計画、体制づくり	継続 細江地区の防災広場用地取得・設計	継続 細江地区防災広場工事	継続	42,963千円
同報無線デジタル化整備事業 【継続】 防災課	災害時等における市民等への情報伝達手段のひとつである同報無線について、平成34年11月末を期限とする総務省の新スプリアス規格に対応するため、アナログ方式からデジタル方式への改修等を実施。	工事監理業務 デジタル化整備工事 屋外拡声子局(80局)	工事監理業務 デジタル化整備工事 屋外拡声子局(24局)	—	—	159,406千円
保安林保全事業 【継続】 農林水産課	海岸の良好な景観の承継と防災対策を図るため、病害虫の防除を実施。	松くい虫対策 防除面積(11.96ha) 保安林管理委託(4団体)	継続	継続	継続	6,560千円
農村地域防災減災事業 【継続】 お茶振興課	今後予想される大規模地震に備えるため、被災による影響の大きい農業用ため池の耐震性点検調査を実施して、耐震性が無い農業用ため池の耐震工事を実施。	団体営ため池耐震工事(1池) 県営ため池耐震工事(5池) 実施計画(8池) 団体営ため池土質・耐震調査(3池)	団体営ため池耐震工事(1池) 県営ため池耐震工事(6池) 団体営ため池土質・耐震調査(5池) ハザードマップ作成(19池)	団体営ため池耐震工事(1池) 県営ため池耐震工事(6池) 団体営ため池土質・耐震調査(5池)	継続	76,050千円 ※繰越し 74,795千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
<p>プロジェクト「TOUKAI-O」 推進事業</p> <p>【継続】 都市計画課</p>	<p>東海地震等に備え、 市民の生命財産を守る ため、市民自らが 取り組む住宅の耐震 化等を支援。</p>	<p>耐震診断 (10件) 補強計画 (17件) 補強工事 (15件) ブロック塀等 撤去(40 件) ブロック塀等 改善(5 件) 生垣づく り(0件)</p>	<p>耐震診断 (40件) 補強計画 (27件) 補強工事 (20件) ブロック塀等 撤去(30 件) ブロック塀等 改善(2 件) 生垣づく り (2件)</p>	継続	継続	31,594千円
<p>津波防災ま ちづくり事 業(避難タ ワー、避難 ビル、いの ち山、避難 路)</p> <p>【完了】 防災課</p>	<p>津波被害から市民の いのちを守るため、 地区津波防災まちづ くり計画書に基づ き、津波避難施設等 を整備。</p>	<p>ソーラー照明 灯設置(自 主防指定 緊急避難 地18か所)</p> <p>避難地・避 難施設誘 導看板設 置 (13か所)</p>	—	—	—	—
<p>市道須々木 大溝線改良 事業</p> <p>【継続】 建設課</p>	<p>予想される南海トラ フ地震等の防災対策 として、避難・輸送 時間の短縮及び避難 路の安全性向上との ため、市道須々木大 溝線の道路改良を実 施。</p>	<p>道路新設 工事 (L=112m) 流末排水 路工事 (L=121m) 用地補償</p>	<p>防災・交 付金事業 事後評価</p>	—	—	<p>3,000千円</p> <p>※繰越し 1,987千円</p>
<p>落橋防止対 策事業</p> <p>【継続】 建設管理課</p>	<p>地震発生時における 避難のため、避難路 及び緊急輸送路上の 橋りょうの落橋防止 対策を実施。</p>	<p>落橋防止 工事 (L=11.6m)</p>	—	—	—	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
地頭方漁港 海岸保全施 設整備事業 【継続】 お茶振興課	地頭方漁港海岸の防 潮堤背後地におい て、発生頻度の高い レベル1津波から生 命・財産等を守るた め、護岸・胸壁・陸 圃の海岸保全施設の 整備を実施。	嵩上改良 工事 (L=50m)	継続	継続	継続	154,000 千円
地頭方漁港 津波高潮防 災ステーシ ョン更新事 業 【継続】 お茶振興課	老朽化した津波高潮 防災ステーションの 機能を向上させ、背 後地域の住民の安全 を確保し、市民の人 命・財産の安全性の 向上を図る。	更新工事	継続	継続	継続	19,108 千円
海岸防潮堤 (レベル2) 整備事業 【継続】 建設課	津波被害から市民の いのちを守るため、 国が整備をするレベ ル1防潮堤の背後に L2津波に対応できる 防潮堤を整備。	L 2 津波 対策施設 基本設計 業務 耐震解析 業務	協議資料 作成業務	細江地区 整備工事 (L=420m) 静波地区 検討業務	細江地区 整備工事 (L=420m) 相良地区 検討業務 (L 1 一 体検討含 む)	2,000 千円
(県営) 基幹水利施 設ストック マネジメン ト事業 【継続】 お茶振興課	中・庄内排水機場は、 供用開始から 21 年 以上経過し、排水ポ ンプ及び周辺機器が 老朽化し、今後更なる 老朽化により多大な 費用を要することが 予想されるため、 効率的な機能保全対 策工事を県営事業で 実施。	庄内排水 機場、中 排水機場 (改修工 事)	庄内排水 機場 (改 修工事)	—	—	53,000 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
土地改良施設維持管理適正化事業 (榛原第1排水機場) 【継続】 お茶振興課	榛原第1排水機場は昭和47年度に県営事業で造成されてから40年以上経過し、施設全体の老朽化が著しいため、土地改良施設維持管理適正化事業により施設の延命化を図る。	2号ポンプ（オーバーホール）事業の拠出金支出	1号ポンプ（オーバーホール）事業の拠出金支出	事業の拠出金支出	継続	20,245千円
原子力調査広報事業 【継続】 防災課	原子力発電に関する知識の普及、安全確保に関する調査、連絡調整のため、原子力関連施設等の視察や講演会の開催、啓発活動の実施。	原子力関連施設等の視察、講演会の開催、啓発活動の実施	継続	継続	継続	4,541千円
放射線防護対策事業 【継続】 防災課	受入先などの準備が整い円滑に避難が出来るまでの間、PAZ圏内の要配慮者等の被ばくリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うための放射線防護施設を整備。	相良地区放射線防護対策施設（実施設計） 地頭方地区放射線防護施設（建設工事） B & G 海洋センター（放射線防護対策工事）	相良地区放射線防護対策施設（造成工事） 相良地区放射線防護対策施設（建築設計）	相良地区放射線防護対策施設（建築工事・外構工事）	—	519,060千円 ※繰越し 152,000千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
災害時医療 対策事業 【継続】 健康推進課	<p>予想される南海トラフ地震等の災害から市民の生命と健康を守るため、医療機関や自主防災組織と緊密な連携のもと、円滑な医療救護体制を確立。</p> <p>一次救護所（ぐりんぱる、相良総合グラウンド）の機能向上のため、医薬品・医療機器等を整備。</p>	<p>医療救護訓練（2回）</p> <p>救護所医薬品、救護所備品購入</p> <p>医薬品等備蓄センター管理運営費負担金</p> <p>医薬品等（EM5隔年更新）</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>医薬品等（ベッドサイドモニター更新）</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>医薬品等（EM5隔年更新）</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>医薬品等（エアアテント更新）</p>	<p>493 千円</p>

1 方向性

(1) 消防の広域化に伴うサービスの充実

- ・静岡地域での消防の広域化に伴い、救急業務のサービスの拡充、消防サービスの充実強化、消防投資の効率化などを長期的な視点で進めます。
- ・関連する団体と連携し、住民の安全安心な暮らしを守る消防体制を構築します。

(2) 消防署の適正配置

- ・地域における消防車両等の到着時間の格差を解消するための検証を行い、消防署の適正配置を検討していきます。

(3) 消防団員の確保、処遇改善

- ・地域の安全を守る消防団活動を維持するため、地域の協力のもと、団員の確保に努めながら、消防団設備の改修や適正な更新を行うとともに、免許取得の補助制度など処遇改善を図っていきます。

(4) 消防団の分団、詰所の再編

- ・地域の実情に合わせた消防団組織の効果的、効率的な運営を図るため、自治会と協議のうえ、分団及び詰所等の再編などを進めます。
- ・分団の再編とともに、消防団活動を補完する機能別分団の組織化への検討を進めます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
消防団員数（総数）	492 人	560 人
消防体制の整備に対する市民満足度	51.3%	62.6%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
静岡地域消防業務委託事業 【継続】 防災課	静岡地域（島田市、牧之原市、吉田町、川根本町）における消防の広域化により、消防業務の充実・強化や消防投資の効率化を図るため、静岡市に消防救急業務を委託。	静岡市への委託（人件費、管理運営経費、経常的経費、車両更新経費等）	静岡市への委託（継続） 消防総合情報システム部分更、消防救急デジタル無線部分更新費、車両更新経費	静岡市への委託（継続）	静岡市への委託（継続）	844,589 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
消防施設整備事業 (消防団組織再編) 【継続】 防災課	消防団は、地震津波等の災害時には、迅速な消火・救助活動が求められている。安全な消防団活動を確保するため、津波浸水区域に位置する分団詰所の統廃合及び詰所の耐震化を実施する。	坂部消防館新築工事 坂部消防館新築工事監理業務委託 地頭方消防館新築工事設計業務委託 詰所解体撤去工事（2箇所） 耐震性貯水槽設置工事（2箇所） 消防団車両購入（更新）	地頭方消防館新築工事 地頭方消防館新築工事監理業務委託 耐震性貯水槽設置工事（1箇所） 詰所解体撤去工事（1箇所） 勝間田消防館建設予定地の選定及び用地取得調査等	詰所解体撤去工事（3箇所） 勝間田消防館用地取得 勝間田消防館建設用地造成設計業務委託	勝間田消防館建設用地造成工事 勝間田消防館新築工事設計業務委託 中器具置場解体撤去工事設計業務委託	126,041 千円
消防団活性化事業 【継続】 防災課	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域防災の中核となる消防団組織の育成・強化。	消防団員の育成・強化、安全確保	継続	継続	継続	29,146 千円

1 方向性

(1) 関係者と連携した犯罪防止

- ・犯罪の防止には、声掛けによるコミュニティ活動など地域環境の整備が重要であることから、市民、地域、事業者及び関係団体が一体となって、青色防犯パトロールの実施や啓発活動を行い、犯罪の起こりにくい地域づくりに取り組みます。

(2) 特殊詐欺などに対する相談、啓発の実施

- ・悪質商法やオレオレ詐欺などの特殊詐欺を未然に防止するため、警察や関係団体などの協力による啓発活動や市民相談センターによる相談機能の充実を図ります。

(3) 交通事故防止

- ・交通死亡事故ゼロ、交通事故総量削減のため、各期間の交通安全運動の実施、高齢者や子どもを対象にした交通安全教室などの啓発活動、県や警察と連携したピカッと作戦、早めのライト点灯の実施による夜間の交通事故防止などに取り組みます。
- ・通学路を中心とした歩行者保護のためのハード整備を実施し、歩行者の安全対策に取り組みます。

(4) 大型イベントへのテロ対策

- ・2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京五輪などの開催におけるテロ行為を未然に防止するため、警察と近隣自治体、民間事業者や地域住民等が緊密に連携し、官民一体のテロ対策を推進します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
消費生活相談件数に占める被害を未然に防いだ割合※2	98.0%	90.0%
交通事故発生件数	239件	200件
夜道、盗難などの犯罪防止に対する取組に対する市民満足度	39.1%	54.0%
学校や地域で子どもを守る取組に対する市民満足度	58.2%	66.3%
悩みごと相談など各種相談窓口の充実に対する市民満足度	48.7%	62.2%
道路交通の安全対策に対する市民満足度	33.4%	48.9%

※1 令和2年3月31日時点（総合計画策定時）における最新の数値

※2 市民相談センターで受け付けた消費生活相談に占める被害を回復した額の割合

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
防犯まちづくり推進事業 【継続】 防災課	市民の安心・安全な暮らしを確保するため、自治会をはじめ、各種団体や学校、警察と連携のもと、防犯活動ボランティア団体への支援や自主防犯活動を促進。	防犯活動の支援、自主防犯活動の促進 防犯灯補助制度の活用(300基)	防犯活動の支援、自主防犯活動の促進 防犯灯補助制度の活用(398基)	継続	継続	6,241千円
市民相談センター運営事業 【継続】 市民課	生活上の心配や不安の解消、消費者被害などの解決への支援により市民の生命・財産を守り、安心した生活が送れるようにするため、相談事業を展開。	相談業務啓発事業出前講座	継続	継続	継続	671千円
交通安全対策推進事業 【継続】 防災課	交通事故をなくすため、牧之原警察署と連携した交通安全対策を推進する。交通安全啓発に係る広報活動や民間指導員の確保等、交通安全指導員設置に係る支援及び指導体制を強化。	交通安全啓発活動、指導員の設置(交通安全指導員47人)	継続	継続	交通安全啓発活動、指導員の設置(交通安全指導員50人)	15,425千円
交通安全対策整備事業 【継続】 建設管理課	市道を通行する車両や児童・生徒の通学時の安全性向上を図るため、転落防止柵の設置や区画線の明示などを実施。	カーブミラー、転落防止柵の設置 区画線の明示等	継続	継続	継続	18,625千円

1 方向性

(1) 人財の育成

- ・ 牧之原市人財育成基本方針に基づき、自ら伸ばす、職場が伸ばす、人事制度が伸ばす取組を継続し、意識改革や個々の感性を磨く学びの場をつくります。
- ・ 職員自ら市民の立場で問題を発見し、仲間と共にスピーディーに解決する情熱ある職員を育てます。
- ・ 人事評価制度を活用し、職員の資質向上を図ります。

(2) 定員管理と再任用

- ・ 定員管理計画の見直しを図り、組織に必要な職員の適正配置を進めます。
- ・ 平成 32 年度（2020 年度）から導入される会計年度任用職員制度に基づき、非正規職員の適正な任用を図ります。
- ・ 再任用制度に基づき、経験豊富な定年退職者を再任用することで、役所機能の維持と若手職員の育成を図ります。

(3) 働き方改革

- ・ 健康で働きやすい職場環境を整備します。
- ・ 生活と仕事の調和による相乗効果を目指すワークライフバランスを推進します。

2 数値目標（令和 4 年度）

指 標	基準値※1	目標値
職務の改善、改革や創造を行い課題に挑戦する職員の割合	70.0%	90.0%
各部が掲げた目標の達成度	60.8%	70.0%

※1 令和 2 年 3 月 31 日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和 2 年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
職員育成・ 研修事業 【継続】 総務課	地域にとって必要とされ、様々な課題に積極的に挑戦し、スピード感を持って解決できる情熱を持った職員を育成するため、戦略的かつ効果的な人財育成を実施。	一般研修 (130 人) 専門研修 負担金 (10 研修)	継続	継続	継続	6,717 千円

1 方向性

(1) 地区主体の地域活動の推進

- ・各地区の地区自治推進協議会が主体的に行う取組を支援し、住民主体の地域づくりを進めます。
- ・各地区の代表者で組織する地区長会が全市的な課題に対応できるよう地区間の連携や活動しやすい環境づくりを進めます。

(2) まちづくりセンターの設置

- ・各地区に地域活動の拠点となる（仮称）まちづくりセンターを設け、行政の各施策との連携を強化するとともに、地区主体の地域づくりの基盤を強化します。

(3) まちづくりを支える人財育成

- ・地域の住民自らが地域の課題を解決する能力を高めるため、まちづくり協働ファシリテーターの育成、高校生を対象とした地域リーダーの育成などに取り組みます。

(4) NPOやボランティア活動

- ・NPOやボランティア団体などの市民活動団体が、運営ノウハウを生かし、自治組織と連携・協働して活動や地域づくりを進める体制を強化します。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
自治会の住民自治活動への支援に対する市民満足度	38.0%	54.0%
地区公民館などの活動拠点の施設整備に対する市民満足度	45.1%	57.5%
NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組整備に対する市民満足度	40.2%	54.6%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
コミュニティ施設整備事業 【継続】 地域振興課	コミュニティ活動の活性化を図るため、自治会の活動拠点となる集会施設の整備や修繕などを支援する。	自治会集会施設の整備、修繕（耐震1、修繕8か所）	自治会集会施設の整備、修繕（修繕17か所）	継続	継続	8,650千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
コミュニティ活動支援事業 【継続】 地域振興課	コミュニティ活動の活性化を図るとともに、地区及び市民と行政の密な連携のもと、自治会活動がさらに推進されるよう、自治会活動を支援する。	コミュニティ活動への支援	継続	継続	継続	40,840 千円
地域の絆づくり事業 【継続】 地域振興課	地域の課題解決と魅力創造のため、主体的に地域づくりを考え、実行する組織を立ち上げるとともに、その取組を通じて、地域の人材を育成する。	地区まちづくり計画に基づく取組の推進	継続	継続	継続	3,000 千円
コミュニティ防災センター施設管理 【継続】 管理情報課	防災コミュニティセンターの利便性向上のため、川崎コミュニティ防災センターの駐車場を拡張する。	—	—	川崎コミュニティ防災センター駐車場拡張工事	—	—
地区のまちづくり拠点施設整備事業 【継続】 地域振興課	自治基本条例推進会議で協議・提出された「地区支援拠点のあり方に関する提言書」を踏まえ、地区支援拠点の機能やあり方を地区長会と協議し、小学校区単位の10地区にその機能を整備する。	まちづくり拠点施設の検討 協議先進地視察研修 モデル地区の検討	まちづくり拠点施設の検討 協議先進地視察研修 モデル地区の実践、試行	モデル地区での実践、試行	継続	0 千円
自治基本条例推進事業 【継続】 地域振興課	自治基本条例に基づき、市民との協働のまちづくりを進めるため、自治基本条例推進会議で市民参加手続き等が適当であるかを確認するとともに、重点施策について意見を聞く。また、地域リーダー育成プロジェクトを実施し、将来の地域の担い手育成を行う。	自治基本条例推進会議の開催(2回) 地域リーダー育成プロジェクト(23回) 市民ファシリテーターの育成支援	継続	継続	継続 補助財源の変更 地域づくり推進事業助成金⇒地域協働促進事業	1,602 千円

1 方向性

(1) 行政運営の効率化と健全化

- ・アウトソーシングの導入や公的資産の有効活用、事務事業の実施方法や施設の運営方法の改善、経営資源の選択と集中などを進め、市民サービスの充実と財政の健全化に努めます。
- ・財源確保や財政負担の軽減に繋がる取組などを進め、持続可能なまちづくりに向けた、経営の視点で行財政運営に努めます。

(2) 公共施設マネジメントの推進

- ・公共施設マネジメント基本計画を見直すとともに、各施設分類における個別計画を策定し、分類別施設の量と質を見直します。

(3) 広域行政の推進

- ・ごみ処理、消防、医療などの単独での施設保有が困難な分野においては、関係市町と連携して施設を運営します。
- ・行政課題の効果的な解決のため、中部地域、遠州地域、大井川流域など各種広域の枠組みの中で、関係市町との連携を強化し、対応方法を検討していきます。

(4) 施策の計画的な推進

- ・施策の推進と進捗管理のため、市民意識調査の実施や実施計画の策定を通じて毎年の実施状況を評価し、取組を随時改善していきます。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
市債残高	196 億円	200 億円
市税収入率（現年分）	99.2%	99.2%
公共施設マネジメントへの市民容認度	82.7%	88.0%
公共施設マネジメントに係る分類別個別計画の策定率	0%	100%
情報通信技術（ICT）の環境整備の取組に対する市民満足度	43.0%	62.0%
行政改革の取組に対する市民満足度	34.9%	50.1%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
地域振興基金積立事業 【継続】 財政課	合併特例債終了後の財源確保のため、合併特例債を財源とした地域振興基金の積立てを行う。合計16億円を積立てる。	合併債を財源に4億円を基金へ積立	合併債を財源に2億円を基金へ積立	継続	—	200,000千円
タブレット端末導入事業 【新規】 議会事務局	「市民に開かれた市議会」の一層の実現と効率的で迅速な議会運営、議会の活性化、危機管理体制の強化など、更なる議会改革を推進する。	—	タブレット端末導入(20台)	—	—	2,320千円
文書電子化推進事業 【新規】 総務課	紙文書が主体の議案や庁内会議等の資料について、電子化による業務の効率化を図るとともに、ペーパーレス化による省資源化を推進するため、タブレット端末の導入を進める。	—	タブレット端末導入(25台) 庁内講習会(2回) システム運用	—	—	4,216千円
文書管理、保管、廃棄における工程構築事業 【継続】 総務課	文書の管理・保管・廃棄について、全庁的に統一したルールを設け文書の開示請求に対応できる体制を構築するとともに、文書の保管量の削減を図る。	文書管理の現状把握、ルール案検討 書庫整理準備	文書管理のルールの策定 書庫整理準備	書庫整理作業 新ルール定着にむけた指導	—	3,692千円
庁舎施設管理事業 【継続】 管理情報課	庁舎老朽化に伴い生じる設備機器の更新、改修を行う。	榛原庁舎(空調ユニット改修、中央監視装置更新) 相良庁舎(雨漏修繕)	—	相良庁舎(整流器、蓄電池更新) 榛原庁舎北側倉庫(改修)	—	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
地図情報修正事業 【新規】 建設管理課	市で使用している地図情報は、製作から10年余を経過し、市内の地形の改変に対応できていないため、地図情報の修正を行い、住民サービスの向上と業務の効率化を図る	—	—	地形図修正 1/2500	地形図修正 1/25000、 1/10000	—
滞納整理に伴う預貯金調査の電子化事業 【継続】 税務課	市税収納率の維持・向上のため、地方税法の規定による強制執行の実施に必要な預金調査について、電子化に向けた体制を整備	システム試験導入	システム運用	継続	継続	344 千円
公共施設等総合管理計画策定・推進事業 【継続】 地域振興課	公共施設総合管理計画の推進を図るとともに、個別施設計画の策定を行う。	公共施設総合管理計画の進捗管理を図るとともに個別施設計画の策定を推進する。	公共施設総合管理計画の進捗管理を図るとともに個別施設計画の策定を推進する。	策定した個別施設を公共施設総合管理計画に反映させる。	公共施設総合管理計画の進捗管理を図る。	150 千円
相良公民館除却事業 【継続】 社会教育課	耐震性不足により、平成29年3月をもって閉館となった相良公民館の除却を行う。	解体工事実施計画	—	解体工事	—	—
老人福祉施設除却事業 【完了】 社会福祉課	津波浸水区域内に立地している施設が老朽化したため、機能を他の空き施設に移転し、施設の解体を行う。	老人会館解体撤去工事 測量業務委託 監理業務委託	—	—	—	—

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
総合計画推進事業 【継続】 秘書政策課	第2次総合計画の施策目的の達成に向けた進捗管理及び第3次総合計画策定のため、市民意識調査の実施や総合計画審議会を開催する。	市民意識調査の実施 総合計画審議会の開催(3回) 実施計画の見直し 総合戦略の見直し	継続 総合計画審議会の開催(4回) 継続	継続 継続 第3次総合計画策定着手	継続 継続 第3次総合計画策定、冊子作成	1,693千円
若者に魅力あるサービス等創出支援事業 【継続】 秘書政策課	民間との効果的な連携を図るため、地域課題の解決に資する民間事業のビジネスモデル、キャッシュフロー等の作成を支援し、自立性、継続性のある事業としてのスタートアップを促進する。事業実施の支援は、各施策の補助事業などと連携することで、総合的、戦略的な展開を図る。	先進事例の調査研究、ビジネスモデルの構築、講座の開催	ミルキーウェイエリアを先導モデルとした取組の推進、先進事例の調査研究 民間プレイヤーの育成、講座の開催	ミルキーウェイエリアを先導モデルとした取組の推進、他のエリアへの展開等の検討 継続	市内の複数エリアでの事業展開、公共と民間の連携事業の構築と実施 継続	5,000千円
償却資産の課税情報入力業務委託事業 【新規】 税務課	償却資産の申告内容の入力業務	—	会計年度任用職員	継続	継続	0千円 ※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上
家屋台帳の整理及び調査内容のPDF化事業 【新規】 税務課	家屋評価システムへの準備情報の入力や評価後の家屋台帳作成、PDF化等業務	—	会計年度任用職員	継続	継続	0千円 ※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
行政サービスICT化推進事業 【新規】 <u>管理情報課</u>	デジタル化推進基本計画に基づき、デジタル化を通して窓口サービスの業務効率化や情報発信を図る。	—	デジタル化の導入に向けた基礎調査、推進戦略策定及び映像の作成	継続	継続	8,300 千円
広域行政推進事業 【継続】 <u>秘書政策課</u>	市の施策において、他市町との連携により実施することが効率的、効果的な事業について、組合や連携事業として事業を実施し、連携を深める。	中部5市2町連携事業など既存の広域連携に継続的に参加し、連携を深める	継続	継続	継続	28,376 千円
実施計画システム導入事業 【新規】 <u>秘書政策課</u>	実施計画の策定に係る業務及び予算編成に係る業務に対し、システムを導入し効率化を図る。	—	システム導入	継続	継続	1,100 千円
ふるさと融資 【新規】 <u>秘書政策課</u>	サーフスタジアムジャパン株式会社のウェブプール建設費への融資を（一財）地域総合整備財団を通じて行う。	—	貸付実行	—	—	525,000 千円

1 方向性

(1) シティプロモーションの推進

- ・市の持つ魅力や強みを整理したうえで、都市ブランドとしての統一したイメージを形成し、市内外に向けて効果的に発信します。
- ・国内外の姉妹都市、友好都市及び友好交流に関する覚書を締結した都市との交流を深めるとともに、交流地域及び交流分野の拡大を図ります。

(2) 広報紙、SNSでの情報の発信

- ・ターゲットや目的に適した媒体や手段により、市政に関する情報を公開、発信するなど、戦略的な広報を展開します。
- ・SNSを活用した地域情報の交流を推進し、暮らしの利便性の向上や地域コミュニティの強化を図ります。

(3) 移住定住の促進

- ・豊かな自然環境、温暖な気候、多様な特産品や地域資源を活かしたライフスタイル、産業、文化の創出を通じて、市内への移住定住を促進します。
- ・移住定住に伴う住宅の新築、購入、賃貸、改装に対する支援を行います。

(4) 東京五輪サーフィン競技のホストタウン事業の推進

- ・2020年東京五輪の開催を契機として、国内外との文化、観光、経済面などでの交流を深めるとともに、開催に合わせて整備した競技環境の有効活用、関係者による気運の盛り上がりなどを通じて、大会後も継続したインバウンドを確保します。
- ・マリンスポーツやマリレジャーを楽しめるライフスタイルや産業を創出し、移住定住を促進します。

(5) 多文化共生の推進

- ・外国籍住民との総理解を深め、共に地域の一員として暮らしていく社会をつくります。

2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
広報紙などによる十分な情報発信	50.0%	63.8%
海外からの交流受入人数	439人	500人
姉妹都市、友好都市との交流推進の取組に対する市民満足度	49.5%	62.8%

※1 令和2年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
シティプロモーション推進事業 【継続】 情報交流課	交流人口の増大を図り、地域の活性化に資するため、各種交流事業を展開するとともに、市の魅力や資源を国内外へ発信する。	交流事業の展開 魅力、資源の情報発信 シティプロモーション推進計画の策定	継続	継続	交流事業の展開 魅力、資源の情報発信	10,633 千円
情報発信事業 【継続】 情報交流課	行政情報の共有化を図るため、広報紙、ホームページ、フェイスブック、携帯メール、LINE、パブリシティ等、多様な媒体や手段により、行政情報を積極的に発信。	広報紙による情報発信(12回) HP、FB等による情報発信 定例記者懇談会の開催(12回) ホームページリニューアル LINE開設	広報紙による情報発信(12回) HP、FB等による情報発信 定例記者懇談会の開催(12回)	継続	継続	13,212 千円
移住・定住促進事業 【継続】 情報交流課	市への移住定住を促進するため、事業者と連携し、地域の魅力等の情報を発信するとともに移住希望者のニーズに応じた個別ツアーを実施。	移住・定住セミナー等参加 個別案内等の実施 移住体験施設の運用	継続	継続	継続	605 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
移住・定住 促進補助事業（定住促進 奨励事業） 【継続】 情報交流課	市への移住定住を促進するとともに、結婚を支援し妊娠・出産、子育て支援等につなげていくため新婚世帯に対する住居費の助成や子育て家族の住宅取得について奨励金等を交付。	制度周知 新婚世帯への住宅 費助成 子育て定 住奨励金 空き家リ フォーム等補 助金	継続	継続	継続	47,896 千円
ホストタ ウン推進事業 【継続】 情報交流課	中華人民共和国並びにアメリカ合衆国を対象国としたホストタウン登録を契機に、両国と人的、経済的、文化的な相互交流を推進する。	ホストタ ウン事業 スポー ツ・文化 交流等の 実施 事前合宿 の受入れ	継続	ホストタ ウン事業 ス ポ ー ツ・文化 交流等の 実施	継続	8,864 千円
国際交流推 進事業 【継続】 情報交流課	国際意識の高揚及び多文化共生への理解の促進を図るため、在外外国人への支援や各種交流事業などに助成。	各種交流 事業への 助成	継続	継続	継続	992 千円
東京オリ ンピック聖火 リレー実施 事業 【新規】 スポーツ推進 室	東京2020オリンピック聖火リレー実施市として、選手の安全な走行の確保、ミニセレブレーションなどの関連イベントの円滑な運営を通してスポーツの振興を図る。	—	東京オリ ンピック 聖火リレ ーの運営 に係る経 費 （安全走 行確保、 セレブレ ーション 運営、周 辺環境整 備、道路 環境整 備、イベ ント装 飾）	—	—	10,544 千円

◆第3 戦略プロジェクト

戦略プロジェクトは、基本構想の重点戦略に基づき、戦略的な観点から総合的、横断的、優先的に取り組むものです。

牧之原市の地域経営に関わる複合的で本質的な課題の解決を進めるための作戦であり、既存の価値観に捉われない柔軟な手法による事業展開を図ります。

■重点戦略1

活力を高め、若者が魅力を感じる住環境や雇用・教育環境などを実現する

“活力”とは、元気よく、意欲的に、自主的に、活動したり働いたりする力とします。

牧之原市は、豊かな自然環境、魅力ある特産物、地域の強い繋がり、雇用の受け皿となる企業、多様な交通インフラなどの地域資源を有しています。これらの資源を意識し、磨きをかけ、豊かにし、横断的に人や組織が関わることで地域資源を最大限活用するとともに、住環境や雇用、教育環境などを充実します。

若者世代が魅力を感じる、未来に希望が持てる、住みたい牧之原市を実現します。

■重点戦略2

共に支え、安心して想いが実現できる地域社会をつくる

“共に支える”とは、生きがいの持てる安心な暮らしを実現するために、多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支え合うこととします。

牧之原市は、これまでも温かみと強い繋がりを持つ地域社会を形成してきました。

お互いを理解し、認め合い、受け入れ、支え合うことで安心な暮らしを築くとともに、対話や活躍できる場を通じて学び、気付き、共感しながら地域に貢献できる社会を実現します。

子どもから高齢者、障がいを持つ人や男女の区別なく誰もが、支え合える、生きがいを感じられる、住みたい牧之原市を実現します。

■重点戦略3

経営を見直し、推進力を高める体制を強化する

前出の2つの戦略を強力に推進するためには、行政経営の基礎を固め、その実効性を高めることが必要となります。

既存事業の徹底的な見直し、施策の選択と集中、資産の適正化などを通じた行政経営の効率化に取り組み、重点投入可能な経営資源（予算、人財、資産）を確保します。

また、まちづくりの基礎となる情報の共有化や協働を推進するための仕組みづくりを強化するとともに、担い手になる人財の育成や活動支援を行います。

未来若者プロジェクト（若者をひきつける自立したまちづくり）

1 方向性

(1) まちづくりを担う民間プレイヤーの支援

- ・自然を活かしたアクティビティ、空き家・空き店舗を活かした商業やサービス業、特産品を活かした食、付加価値の高い農業、その他テクノロジーやノウハウを活かした新ビジネスの実施などに民間主体で取り組むプレイヤーを見出します。
- ・民間プレイヤーが行う地域経営課題の解決に資する事業計画の策定を支援します。
- ・その事業を支援し、市域に新たなサービスやライフスタイルを創出します。

(2) エリア再生や構想の策定

- ・商店街、沿岸部、里山などのエリア再生に資するエリア構想を策定します。
- ・構想の実現に公民の連携で取り組み、魅力あるエリアの創出に取り組みます。

(3) 若者が求めるサービスの充実

- ・民間プレイヤー及びその事業と行政の各施策の連携により、魅力ある子育て支援、教育、公園、交流空間、産業などを創出し、若者が訪れ、交流し、住む環境の充実を図ります。

【プロジェクト該当事業（再掲）】

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
若者に魅力あるサービス等創出支援事業 【継続】 秘書政策課	民間との効果的な連携を図るため、地域課題の解決に資する民間事業のビジネスモデル、キャッシュフロー等の作成を支援し、自立性、継続性のある事業としてのスタートアップを促進する。事業実施の支援は、各施策の補助事業などと連携することで、総合的、戦略的な展開を図る。	先進事例の調査研究、ビジネスモデルの構築、講座の開催	ミルキーウェイエリアを先導モデルとした取組の推進、先進事例の調査研究 民間プレイヤーの育成、講座の開催	ミルキーウェイエリアを先導モデルとした取組の推進、他のエリアへの展開等の検討 継続	市内の複数エリアでの事業展開、公共と民間の連携事業の構築と実施 継続	5,000千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
まきのはら 産業・地域 活性化セン ター事業 【継続】 観光課	平成 31 年度に設立 する一般社団法人ま きのはら産業・地域 活性化センターの運 営が円滑に行われる よう、人件費等の運 営費について支援を 行う。	法人の運営 支援	継続	継続	継続	41,573 千円
シティプロ モーション 推進事業 【継続】 情報交流課	交流人口の増大を図 り、地域の活性化に 資するため、各種交 流事業を展開すると ともに、市の魅力や 資源を国内外へ発信 する。	交流事業 の展開 魅力、資 源の情報 発信 シティプ ロモーション 推進 計画の策 定	継続	継続	交流事業 の展開 魅力、資 源の情報 発信	10,633 千円
ホストタ ウン推進事業 【継続】 情報交流課	中華人民共和国並び にアメリカ合衆国を 対象国としたホスト タウン登録を契機 に、両国と人的、経 済的、文化的な相互 交流を推進する。	ホストタ ウン事業 スポー ツ・文化 交流等の 実施 事前合宿 の受入れ	継続	ホストタ ウン事業 ス ポ ー ツ・文化 交流等の 実施	継続	8,864 千円
がんばる中 小企業応援 事業 【継続】 商工振興課	中小企業者等の経 営課題等に対し、解 決までの筋道を提 示できる牧之原市 ビジネスサポート デスク（まきサポ） を設置し、経営改 善、創業などの相談 を受ける。併せてセ ミナー等を開催し、 中小企業等の振興 を図る。	中小企 業・小規模 企業及び 起業、創業 希望者に 対する相 談業務実 施（96 件）	継続	継続	継続	1,901 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
商工業振興 支援事業 【継続】 商工振興課	市内商業の活性化を図るため、商業団体等が実施するにぎわい創出に繋がるイベント開催や商店の魅力発信などの事業を支援する。 また、新たな事業の創出を促進し産業の振興を図るため、市内で起業する者に対して支援を行う。	市内にぎわい創出イベント事業等への補助 (6件) 市内起業に対しての補助 (2件)	継続	継続	継続	3,670千円
観光イベント支援事業 【継続】 観光課	観光振興や誘客促進を図るため、観光事業を行う団体を支援。	観光振興事業負担金 ゴーセンカップ 牧之原市国際女子オープンテニストーナメント開催 サイクルイベント開催 沿岸部活性化事業	継続	継続	継続	700千円
公園整備事業 【継続】 都市計画課	地域に根ざした身近な公園緑地としての機能向上を図るため、周辺景観との調和や実情に配慮した整備、維持管理を実施。	波津公園トイレ改修工事 ふるさと体験の森駐車場設計委託、用地買収	ふるさと体験の森多目的広場造成工事	油田の里公園改修工事	小堤山遊具改修工事 小堤山園路改修工事 平成せせらぎ公園照明灯取り換え工事	53,000千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R1	R2	R3	R4	
図書館機能 拡充事業 【新規】 社会教育課	相良、榛原図書館の機能拡充に係る費用及び図書館オンラインシステムの構築と県内図書館横断検索システムへの加入。	図書館オンラインシステムの導入検討	図書館オンラインシステム導入 相良図書館の拡充工事 榛原図書館の拡充に向けた検討	図書館オンラインシステム継続 相良図書館システム更新 榛原図書館の拡充工事設計	図書館オンラインシステム継続 相良、榛原図書館システム更新 榛原図書館の拡充工事	28,550 千円
図書館機能 拡充事業 【新規】 社会教育課	民間所有の商業施設の一部を賃貸借して、相良図書館を整備する。	—	主に内装工事や電気設備工事、照明設備工事等を施行	—	—	※繰越し 176,000 千円
ふるさと融 資 【新規】 秘書政策課	サーフスタジアムジャパン株式会社のウェブプール建設費への融資を（一財）地域総合整備財団を通じて行う。	—	貸付実行	—	—	525,000 千円

高台開発プロジェクト（魅力ある高台開発の推進）

1 方向性

(1) 東名高速道路相良牧之原 I C 北側地区の開発の推進

- ・（仮称）牧之原市 I C 北側土地区画整理組合が行う開発事業を支援します。
- ・同組合が選定した業務代行者と連携し、賑わい拠点づくりを進めます。

(2) その他の開発の検討

- ・県や関係市町と連携し、富士山静岡空港新幹線新駅の設置を進めるとともに、その状況に合わせて、新駅周辺の開発についても検討を行います。
- ・企業進出などに必要な用地の確保については、ニーズに合わせて整備を検討します。

【プロジェクト該当事業（再掲）】

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
東名相良牧之原 I C 北側開発事業 【継続】 新拠点整備室	相良牧之原IC北側の複合的な用途による開発を行うため、土地区画整理準備組合の運営、事業認可取得及び組合設立等を支援し、土地区画整理事業を通じた新たな拠点、賑わいの場の創出を図る。	土地区画整理準備組合支援、土地区画整理事業関係調査委託	土地区画整理準備組合支援、土地区画整理事業助成金、土地区画整理事業関係調査委託	土地区画整理組合支援、土地区画整理事業助成金、道路等測量設計負担金、公共施設用地取得、物件補償	土地区画整理組合支援、土地区画整理事業助成金、道路等改良工事負担金、公園整備測量設計	213,313千円
相良牧之原 IC 北側地域の排水路等整備事業 【継続】 建設課	相良牧之原IC北側地域の土地利用の促進と旧大井航空隊暗排水路の廃止を目的として、代替機能となる排水路を整備するため、下流河川の改修を実施。	布引原25号線排水路改修 (L=230m)	東萩間1号線流末排水路測量設計 (L=460m)	東萩間1号線流末排水路改修 (L=460m)	布引原18号線排水路測量設計 (L=300m)	8,000千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
都市計画用途地域指定事業(高台開発関連事業) 【継続】 都市計画課	東名相良牧之原IC北側の開発において予定されている土地区画整理事業において、用途地域の指定が必要となることから、用途地域指定に関する協議資料等の作成に関する事業を行う。	—	用途地域変更、都市計画決定図書作成 地区計画検討資料作成	—	—	4,499千円
企業立地促進事業 【継続】 企業立地推進課	地域産業の振興及び就業の場の確保を図るため市内に工場等を新設する企業等に対し補助金を交付	工場等を立地する企業への補助	継続	継続	継続	180,600千円
移住・定住促進事業 【継続】 情報交流課	市への移住定住を促進するため、事業者と連携し、地域の魅力等の情報を発信するとともに移住希望者のニーズに応じた個別ツアーを実施。	移住・定住セミナー等参加 個別案内等の実施 移住体験施設の運用	継続	継続	継続	605千円
移住・定住促進補助事業(定住促進奨励事業) 【継続】 情報交流課	市への移住定住を促進するとともに、結婚を支援し妊娠・出産、子育て支援等につなげていくため新婚世帯に対する住居費の助成や子育て家族の住宅取得について奨励金等を交付。	制度周知 新婚世帯への住宅費助成 子育て定住奨励金 空き家リフォーム等補助金	継続	継続	継続	47,896千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
萩間地区工業用地造成事業 【新規】 企業立地推進課	萩間地区における工業用地の大規模開発に向け、必要な各種事前調査をはじめ、基本計画及び基本設計を策定。	開発可能性基本調査を実施	開発可能性詳細調査（基本計画・基本設計の作成）	継続	継続	60,000 千円
放射線防護対策事業 【継続】 防災課	受入先などの準備が整い円滑に避難が出来るまでの間、PAZ圏内の要配慮者等の被ばくリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うための放射線防護施設を整備。	相良地区放射線防護対策施設（実施設計） 地頭方地区放射線防護施設（建設工事） B & G 海洋センター（放射線防護対策工事）	相良地区放射線防護対策施設（造成工事） 相良地区放射線防護対策施設（建築設計）	相良地区放射線防護対策施設（建築工事・外構工事）	—	519,060 千円 ※繰越し 152,000 千円

公共施設最適化プロジェクト（公共施設マネジメントの推進）

1 方向性

(1) 公共施設マネジメントの計画的な推進

- ・取組の進捗状況に合わせて、公共施設マネジメント基本計画及び将来更新経費の時点修正を行い、計画の進行を管理します。
- ・先導的な取組に位置付けている旧片浜小学校の利活用については、運営事業者の株式会社マキノハラボによる管理運営を支援します。

(2) 個別分野への展開

- ・施設分類別の個別計画の策定を進めます。
- ・今ある施設を賢く使うことで、サービスの質の向上に努めます。
- ・個別計画に基づき、個別施設の更新、統廃合、長寿命化に計画的に取り組みます。

【プロジェクト該当事業（再掲）】

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
公共施設等 総合管理計 画策定・推 進事業 【継続】 地域振興課	公共施設総合管理 計画の推進を図る とともに、個別施 設計画の策定を行 う。	公共施設 総合管理 計画の進 捗管理を 図るとと に個別施 設計画の 策定を推 進する。	公共施設 総合管理 計画の進 捗管理を 図るとと に個別施 設計画の 策定を推 進する。	策定した 個別施設 計画を公 共施設理 計画に反 映させ る。	公共施設 総合管理 計画の進 捗管理を 図る。	150 千円
学校再編事 業 【継続】 教育総務課	小中連携教育を進 め、魅力ある教育環 境を実現するため、 小中学校再編計画を 策定する。学校再編 計画に基づき学校整 備基本構想を策定す る。	検討組織 の立ち上 げ及び協 議・研究	協議・研 究及び再 編計画策 定	再編計画 の内容によ り決定 する	継続	1,809 千円
保育園等施 設マネジメ ント計画管 理事業 【継続】 保育園民営化 推進室	幼児教育・保育サ ービスの向上を図 るため公立保育 園、幼稚園、認定 こども園の施設マ ネジメント計画を 策定・実施。	個別計画 の策定	牧之原市 公立保育 所民間移 管審査委 員会によ る審査実 施	施設マネ ジメント 計画の実 施	継続	2,943 千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
消防施設整備事業 (消防団組織再編) 【継続】 防災課	消防団は、地震津波等の災害時には、迅速な消火・救助活動が求められている。安全な消防団活動を確保するため、津波浸水区域に位置する分団詰所の統廃合及び詰所の耐震化を実施する。	坂部消防館新築工事 坂部消防館新築工事監理業務委託 地頭方消防館新築工事設計業務委託 詰所解体撤去工事（2箇所） 耐震性貯水槽設置工事（2箇所） 消防団車両購入（更新）	地頭方消防館新築工事 地頭方消防館新築工事監理業務委託 耐震性貯水槽設置工事（1箇所） 詰所解体撤去工事（1箇所） 勝間田消防館建設予定地の選定及び用地取得調査等	詰所解体撤去工事（3箇所） 勝間田消防館用地取得 勝間田消防館建設用地造成設計業務委託	勝間田消防館建設用地造成工事 勝間田消防館新築工事設計業務委託 中器具置場解体撤去工事設計業務委託	126,041千円
地区のまちづくり拠点施設整備事業 【継続】 地域振興課	自治基本条例推進会議で協議・提出された「地区支援拠点のあり方に関する提言書」を踏まえ、地区支援拠点の機能やあり方を地区長会と協議し、小学校区単位の10地区にその機能を整備する。	まちづくり拠点施設の検討 協議先進地視察研修 モデル地区の検討	まちづくり拠点施設の検討 協議先進地視察研修 モデル地区の実践、試行	モデル地区での実践、試行	継続	0千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
公営住宅等 ストック総合改善事業 【継続】 建設管理課	市営住宅ストックの長寿命化とライフサイクルコストの削減を図るため、計画的な施設の更新及び予防保全的管理を実施。	菅ヶ谷団地1号棟（排水管等改修工事） 菅ヶ谷団地2号棟（屋上防水、外壁塗装、排水管等改修工事）	菅ヶ谷団地3号棟（屋上防水、外壁塗装、排水管等改修工事） 湊団地（屋上防水、外壁塗装等実施設計）長寿命化計画の見直し	湊団地（屋上防水、外壁塗装、排水管等改修工事）	—	43,297千円
道路ストック補修支援事業 【継続】 建設管理課	道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の橋りょう、舗装や法面など特に傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施。	計画に基づく維持修繕の実施	継続	継続	継続	462,538千円
静和会館大規模改修事業 【継続】 社会福祉課	地域住民の交流拠点となる隣保館の老朽化に対する改善を図るため、屋上防水、外壁クラック補修及び塗装等の大規模改修を実施。	改修工事基本設計	県への申請国のヒアリング	改修工事実施設計	改修工事（屋根雨漏り修繕、外壁塗装等）	0千円

事業名 課名	事業内容	年度別活動内容				令和2年度 当初予算
		R 1	R 2	R 3	R 4	
温泉会館大規模改修事業 【継続】 観光課	さがら子生れ温泉会館の施設及び設備の老朽化が進んできているため、大規模改修を実施し施設の長寿命化を図る。	防排煙設備修繕	屋外軒天補修	館内 LED 化	継続	10,279 千円
相良公民館除却事業 【継続】 社会教育課	耐震性不足により、平成 29 年 3 月をもって閉館となった相良公民館の除却を行う。	解体工事実施計画	—	解体工事	—	—